

## 第27回 最上川水系流域委員会

# 最上川水系置賜圏域河川整備計画 (知事管理区間)の変更について

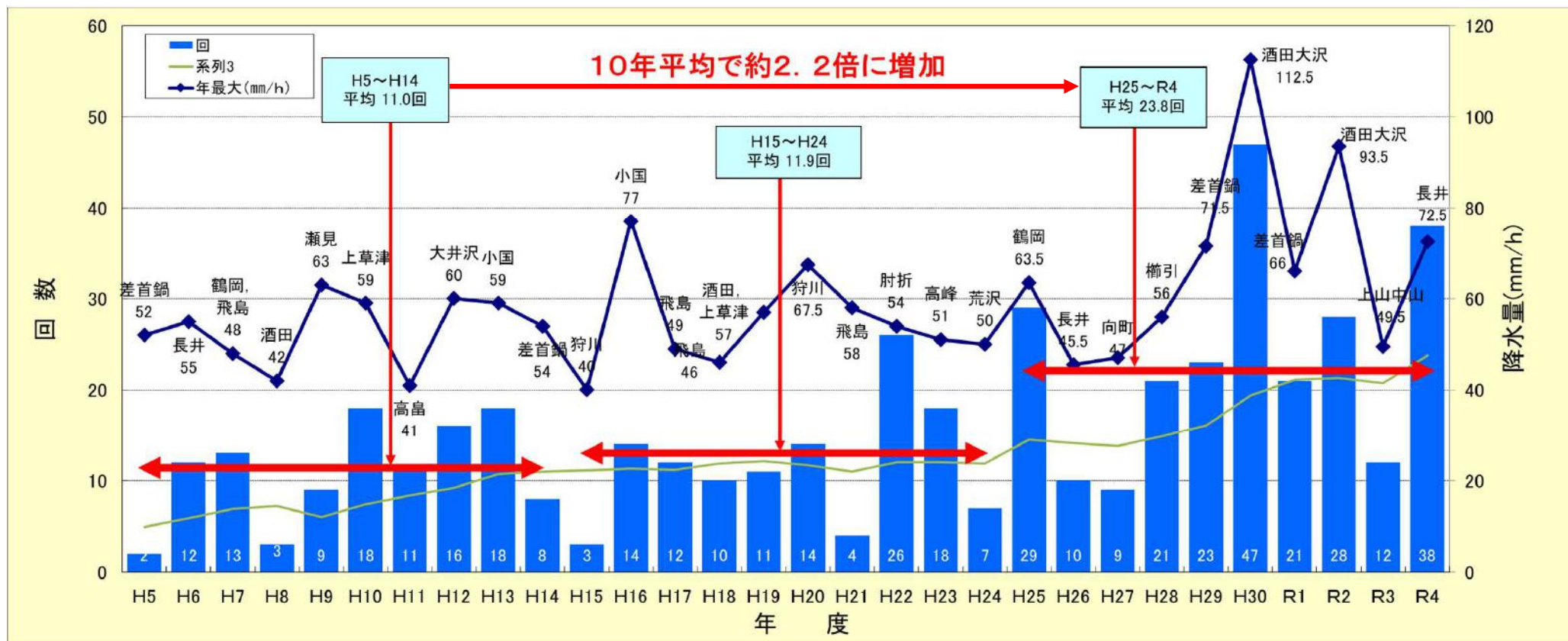
令和5年2月  
山形県県土整備部河川課

1. 近年の降雨の状況及び豪雨による浸水被害
2. 令和2年7月豪雨等を踏まえた県管理河川の治水対策
3. 河川整備計画(知事管理区間)の変更
  - 3-1. 最上川水系河川整備計画(県管理区間)策定状況
  - 3-2. 現行の河川整備計画について
  - 3-3. 整備計画の変更概要
  - 3-4. 整備計画に新たに追加する河川
    - (1) 小白川
    - (2) 萩生川
  - 3-5. 公聴会(住民説明会)での主な意見
  - 3-6. パブリック・コメントでの主な意見
  - 3-7. 今後の予定 整備計画変更スケジュール
4. 流域治水の取組み
  - (1) 山形県 河川・砂防情報システム
  - (2) 危機管理型水位計
  - (3) 簡易型河川監視カメラ
  - (4) 令和4年8月の大雨を受けた取組み
  - (5) 可搬式排水ポンプの配備と稼働状況
  - (6) 流域治水プロジェクト
  - (7) 最上川上流(置賜地域)緊急治水対策プロジェクト

# 1. 近年の降雨状況及び豪雨による浸水被害

# (1) 近年の降雨状況について

- 平成30年8月豪雨、令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨、令和4年8月の大雨など、県内では毎年のように**甚大な豪雨災害が頻発**している
- 地球温暖化に伴う気候変動により、**今後も集中豪雨や災害が多発することが懸念**される

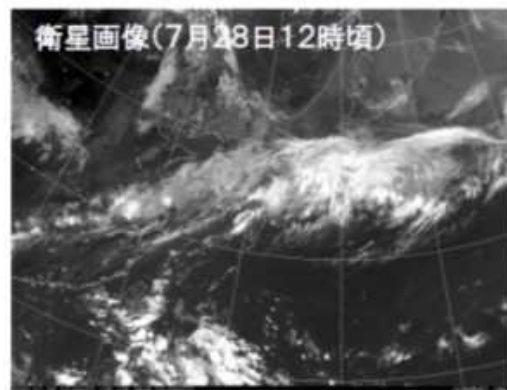


1時間降雨量30mm以上の発生回数及び年間最大1時間降水量の推移

※1 1時間降水量30mm以上の発生回数を集計  
 ※2 山形地方气象台提供資料および気象庁公表データを基に作成

## (2) 豪雨による浸水被害(令和2年7月豪雨)

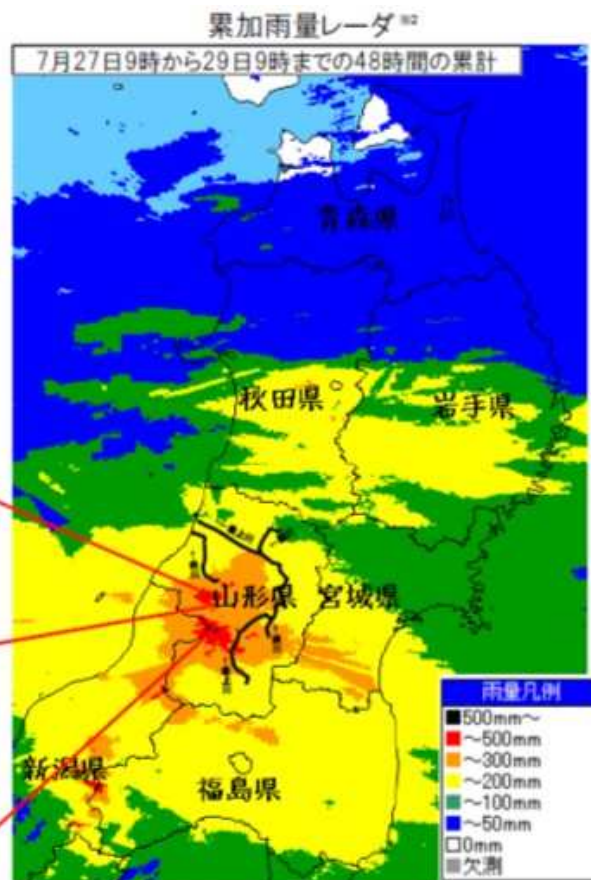
- 前線及び低気圧の影響により7月27日から、山形県と秋田県を中心に非常に激しい降雨となり、総雨量は多いところで**300mmを超過**した
- 山形県の湯殿山雨量観測所(国交省所管)では**総雨量280mm**を観測するなど、例年7月の降雨量が2日間で降り、**既往最大を記録**した
- 最上川では、大石田観測所ではこれまでの既往最高水位を約1.7m上回り、更に計画高水位を約0.7m超過するなど、**主要となる4水位観測所で計画高水位を超過する観測史上最高の水位**を更新した
- この大雨により、**村山、最上を中心に県内各地で土砂災害や河川の氾濫が発生し、県内全体で床上浸水150棟、床下浸水549棟等の甚大な浸水被害が発生した**



○ **湯殿山(国交省) : 280mm**  
 (赤川水系梵字川\_山形県鶴岡市)  
 ※例年7月の降雨量(270mm)の1.1倍の雨が2日間で降った  
 (既往最大を更新)

○ **志津(国交省) : 288mm**  
 (最上川水系寒河江川\_山形県西村山郡西川町)  
 ※例年7月の降雨量(261mm)の1.1倍の雨が2日間で降った

○ **日暮沢(国交省) : 302mm**  
 (最上川水系寒河江川\_山形県西村山郡西川町)  
 ※例年7月の降雨量(377mm)の約8割の雨が2日間で降った

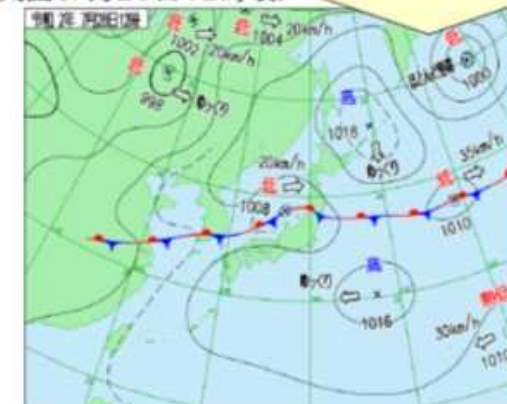


※2 累加レーダー雨量図は統一河川情報システムより

天気図(7月27日3時頃)



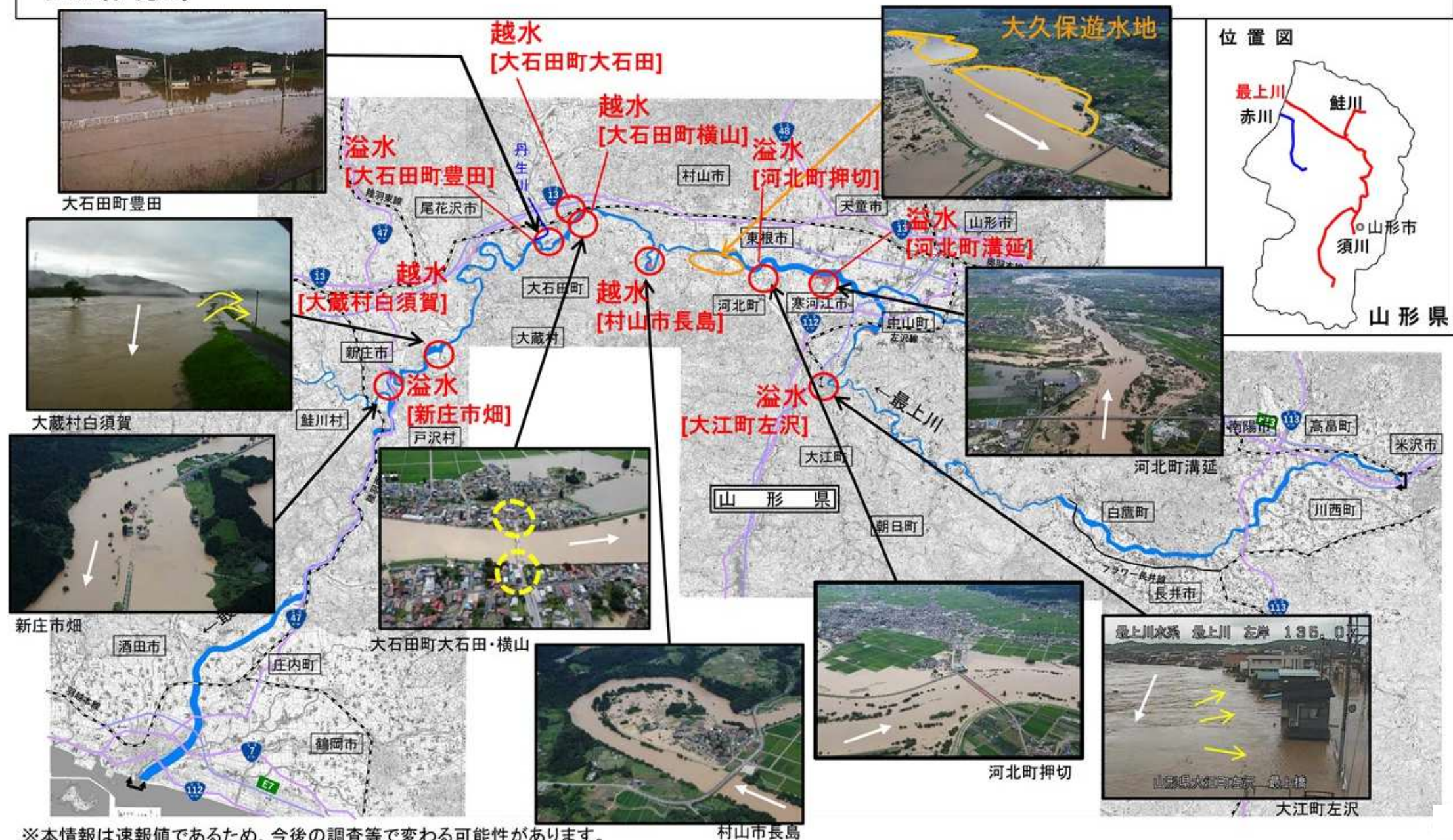
天気図(7月28日12時頃)



※ 天気図、衛星画像は気象庁資料より

## (2) 豪雨による浸水被害(令和2年7月豪雨)

○最上川では、堤防からの越水が4箇所（村山市1箇所、大石田町2箇所、大蔵村1箇所）、溢水が5箇所（新庄市、大石田町、河北町2箇所、大江町）発生。

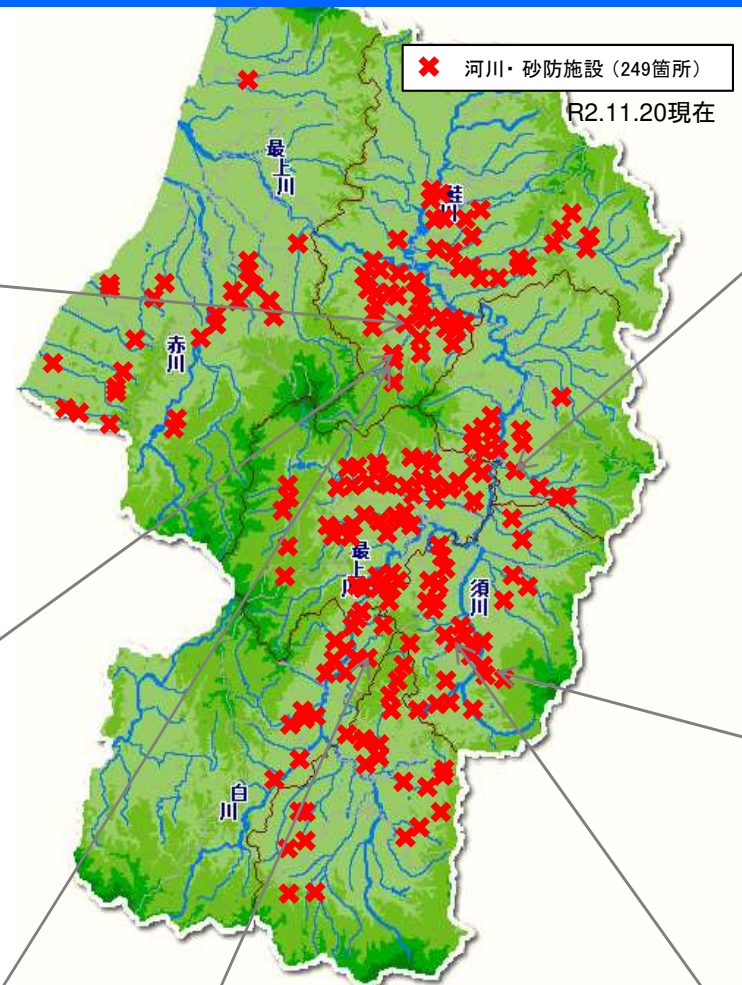


※本情報は速報値であるため、今後の調査等で変わる可能性があります。

(資料)第25回流域委員会資料「令和2年7月27日～29日出水概要」

# (2) 豪雨による浸水被害(令和2年7月豪雨)

○県管理の河川や砂防施設の被害状況



濁流により護岸・道路(約200m)が流出



濁流により護岸(約80m)が流出



発電施設付近で地すべりが発生



濁流により護岸・道路(約70m)が流出



濁流により右岸堤防(約30m)が決壊



濁流により護岸(約20m)が損壊



濁流により護岸(約80m)が流出



# (3) 豪雨による浸水被害(令和4年8月の大雨)

前線及び低気圧の影響により線状降水帯が発生し、山形県を中心に非常に激しい雨となり、24時間雨量が多いところで474mmを記録しました。

|                 |              |           |
|-----------------|--------------|-----------|
| ◇ 樺(つばき)雨量観測所   | 24時間雨量 474mm | (観測史上第1位) |
| ◇ 深沢(ふかさわ)雨量観測所 | 24時間雨量 409mm | (観測史上第1位) |
| ◇ 米沢(よねざわ)雨量観測所 | 24時間雨量 262mm | (観測史上第1位) |

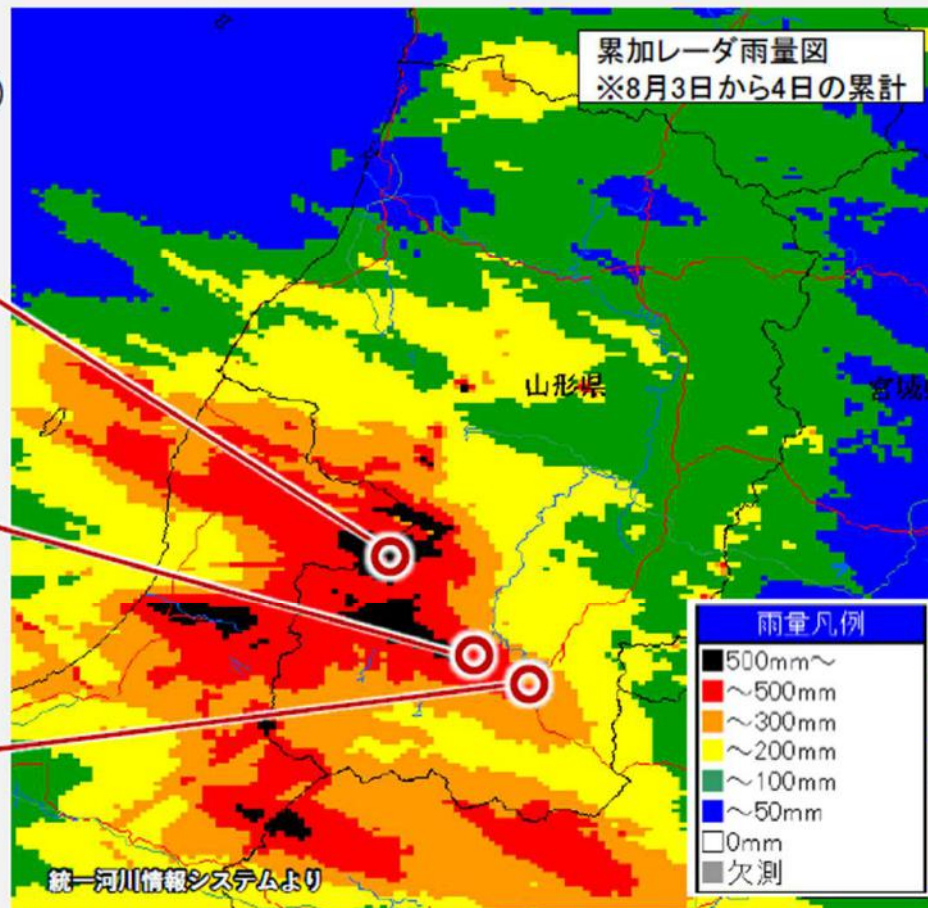
※速報値のため、今後変更となる場合があります。

## 主な雨量観測所の累加雨量(24時間雨量)

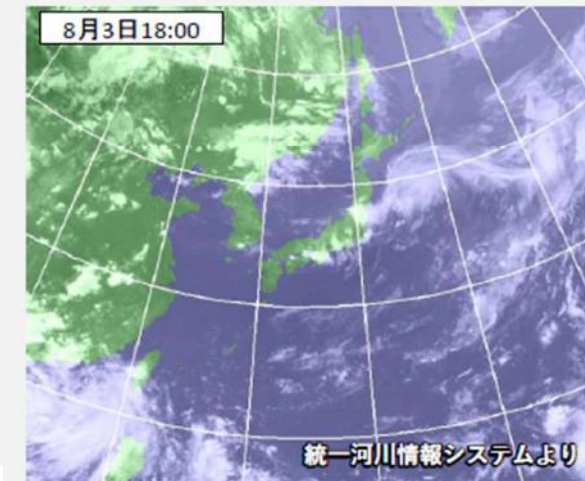
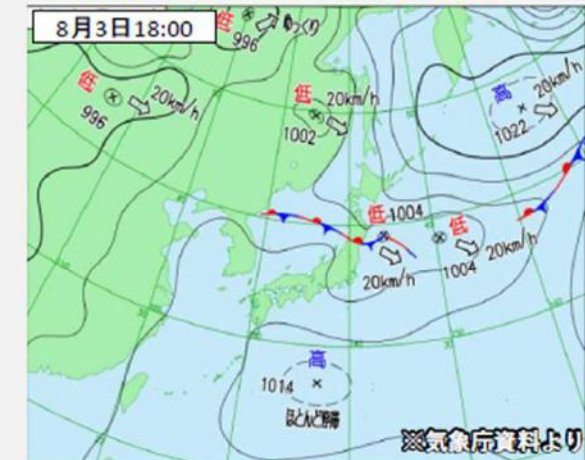
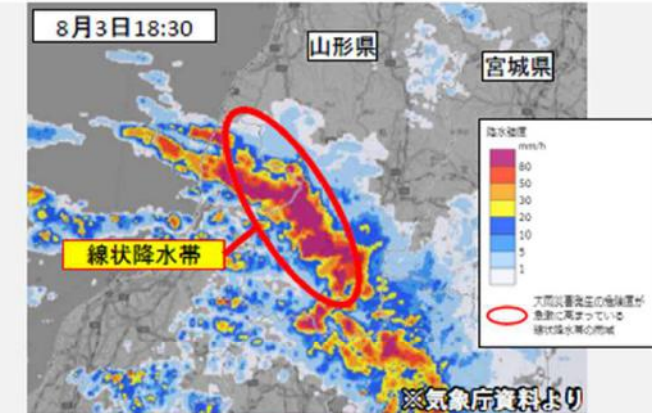
ふかさわ  
・深沢雨量観測所  
累加雨量 409mm  
(国土交通省)

つばき  
・樺雨量観測所  
累加雨量 474mm  
(国土交通省)

よねざわ  
・米沢雨量観測所  
累加雨量 262mm  
(国土交通省)



※速報値のため、今後変更となる場合があります。

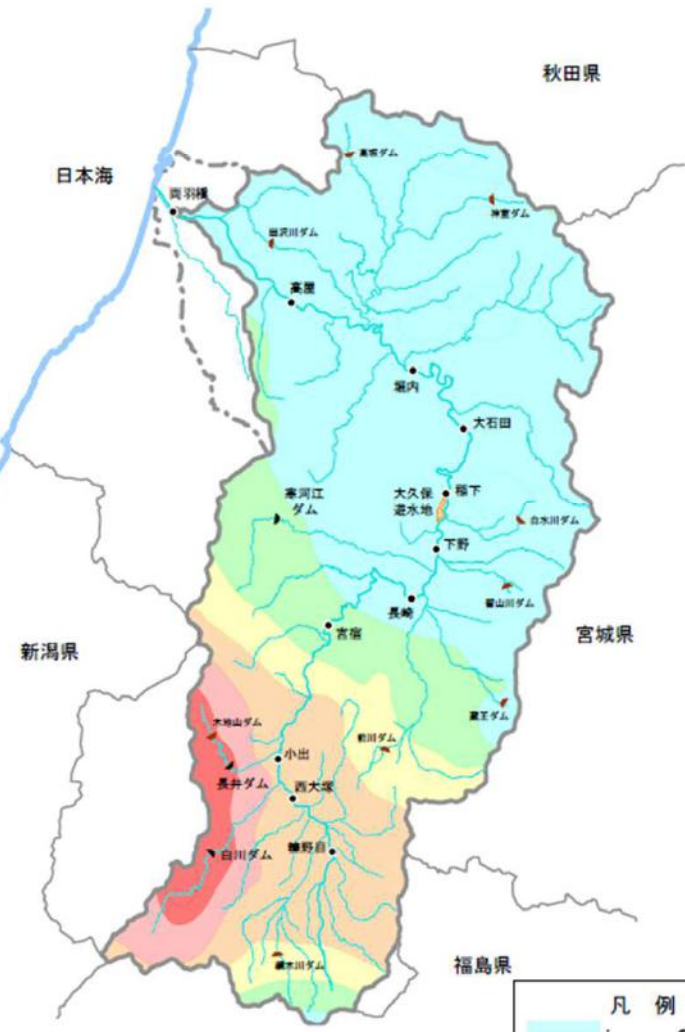




# (3) 豪雨による浸水被害(令和4年8月の大雨)

羽越水害(昭和42年8月)

[等雨量線図:2日雨量]



凡例

|             |
|-------------|
| ~100mm      |
| 100mm~150mm |
| 150mm~200mm |
| 200mm~250mm |
| 250mm~300mm |
| 300mm~      |

令和2年7月豪雨

[等雨量線図:2日雨量]

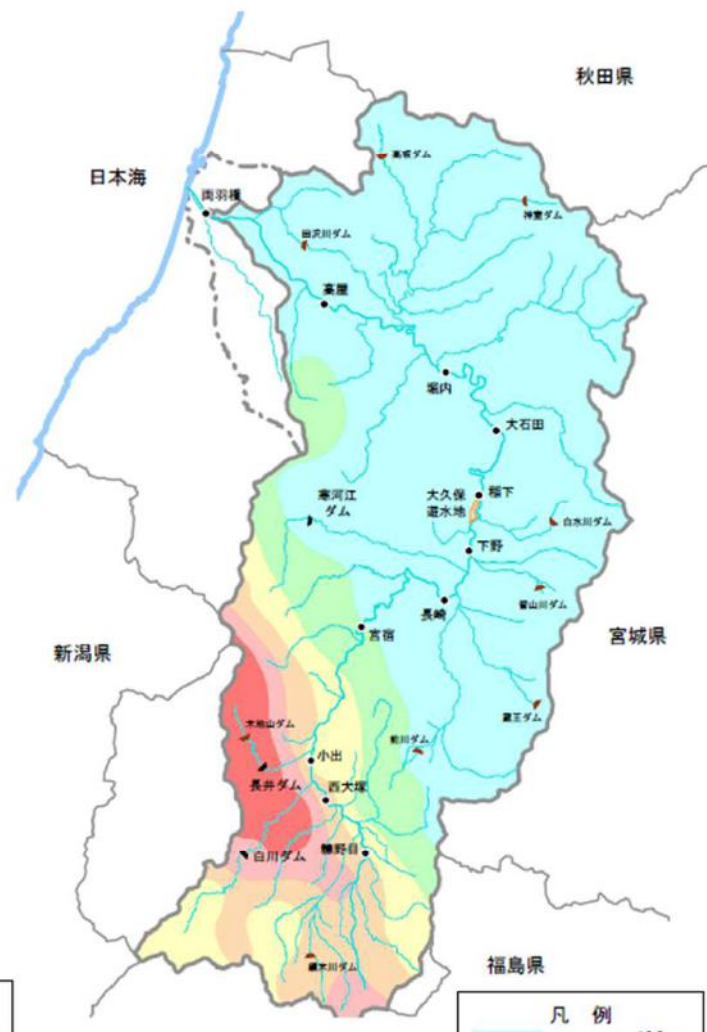


凡例

|             |
|-------------|
| ~100mm      |
| 100mm~150mm |
| 150mm~200mm |
| 200mm~250mm |
| 250mm~300mm |
| 300mm~      |

令和4年8月出水

[等雨量線図:2日雨量]



凡例

|             |
|-------------|
| ~100mm      |
| 100mm~150mm |
| 150mm~200mm |
| 200mm~250mm |
| 250mm~300mm |
| 300mm~      |

令和4年8月出水(前線)の概要《第3報8月31日17時時点》  
国土交通省山形河川国道事務所 資料より

# (3) 豪雨による浸水被害(令和4年8月の大雨)

## 【位置図】



- 最上川水系最上川のこいで小出水位観測所においては、氾濫危険水位を0.74m超過し、昭和42年8月(羽越豪雨)水害における最高水位を超え、既往第1位の水位を観測し、ながさき長崎水位観測所においても令和2年7月豪雨及び羽越水害(昭和42年8月)に次ぐ、既往第3位の水位を観測しました。
- 堤防からの越水が1箇所(長井市河井山地区)、ながい かわいやま溢水が4箇所(米沢市上新田地区、よねざわ かににいだ大江町百目木地区、おおえまち どのき河北町溝延地区、かほくちょう みぞ河北町押切地区)が発生しました。



※速報値のため、今後変更となる場合があります。

# (4) 令和4年8月の大雨による県管理河川の浸水被害状況

護岸の損壊(120m)



河岸崩壊(50m)及び除雪基地の浸水



県道橋・JR橋流失、家屋浸水



広範囲に渡る護岸損壊・土砂堆積・浸水



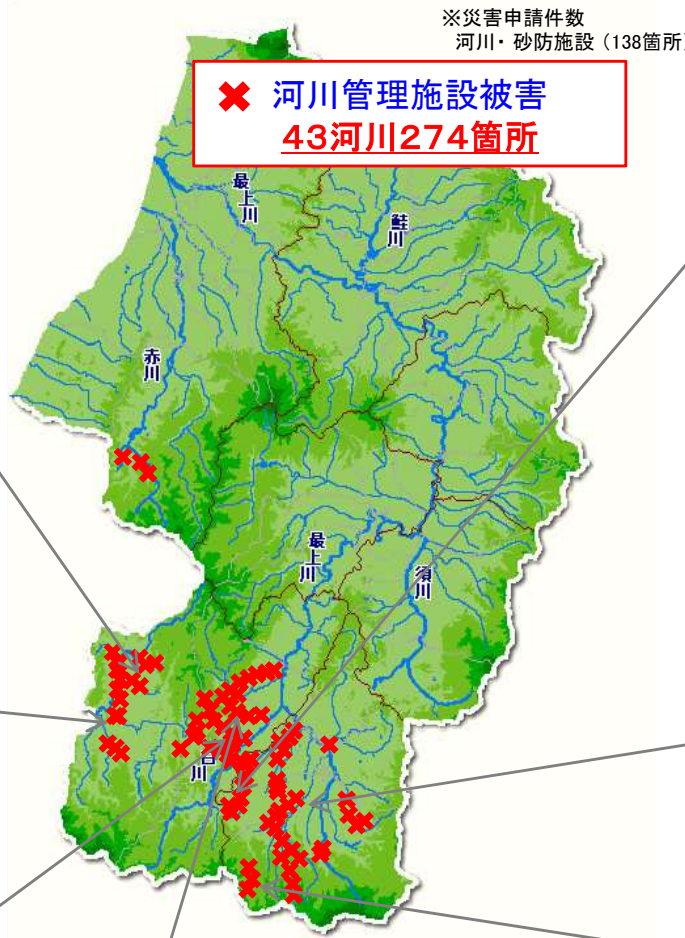
護岸損壊(80m)



護岸損壊(150m)



護岸損壊(120m)、市道橋流失



## (4) 令和4年8月の大雨による県管理河川の浸水被害状況



飯豊町萩生地区における浸水被害



飯豊町小白川地区における浸水被害



川西町黒川地区における内水被害



大江町左沢地区における内水被害

# (5) 令和4年8月の大雨における県管理河川の応急復旧状況

## ■ 小白川 応急復旧状況



# (5) 令和4年8月の大雨における県管理河川の応急復旧状況

## ■ 萩生川 応急復旧状況

被災直後 (8月5日)



応急復旧 (8月17日撮影)



被災直後 (8月5日)



応急復旧 (9月3日撮影)



## 2. 令和2年7月豪雨等を踏まえた 県管理河川の治水対策

# 2. 令和2年7月豪雨等を踏まえた県管理河川の治水対策

## (1) 令和2年7月豪雨の浸水被害の状況

最上川本川で9か所、  
県管理河川では67か所  
で浸水被害が発生



R2年7月豪雨の状況(月布川[大江町])

## (2) 県の治水対策の取組状況

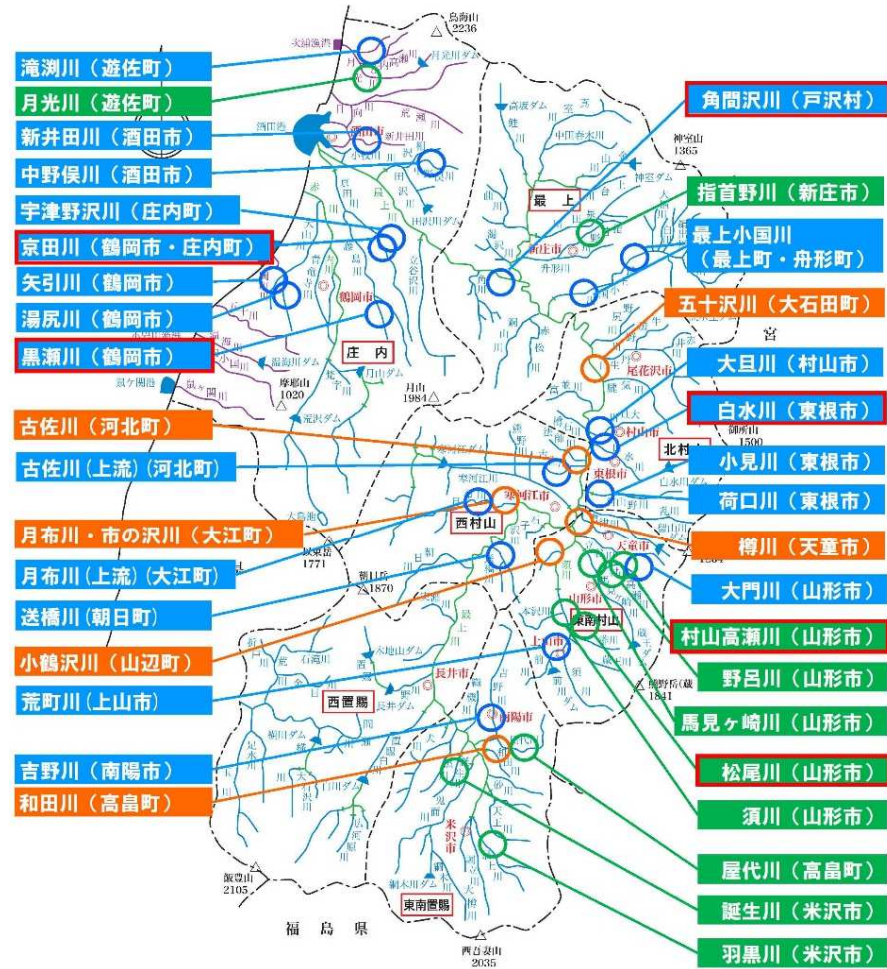
### 河川整備による再度災害防止

令和2年7月豪雨と同規模の洪水等に対し浸水被害の解消を図ることを目標として、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算」を活用し、概ね10年間(令和2年度~11年度)で35河川(右図)、約500億円規模の河川整備を集中的に実施

- ① 7月豪雨で家屋浸水等の被害が発生した河川(R3調査着手→新規事業)
- ② 7月豪雨を含む近年の洪水により浸水被害が発生した河川(継続事業)
- ③ 沿川に住宅地が多く浸水被害が想定される河川(継続事業)

県管理河川の被害総数(要因別)

| 被害要因     | 被害総数 |
|----------|------|
| バックウォーター | 15   |
| 内水氾濫     | 10   |
| 現況流下能力超過 | 42   |
| 合計       | 67   |



□ : R4~R5完了河川(6河川)

村山高瀬川、松尾川、白水仙、角間沢川、京田川、黒瀬川



## 2. 令和2年7月豪雨等を踏まえた県管理河川の治水対策

### 令和4年度からの新規事業箇所

令和2年7月豪雨で浸水被害が発生した古佐川や和田川など、6か所7河川で今年度事業着手。



古佐川(河北町)



和田川(高島町)



R4新規事業箇所(6か所7河川)

### 令和4年度に整備効果発現が見込まれる主な箇所①

#### 角間沢川 (戸沢村蔵岡)

- 平成30年8月、2度の浸水被害が発生
- 国土交通省、戸沢村と連携し、輪中堤を整備



↑被災状況(H30.8月)

#### 【被災状況(H30.8月)】

H30.8. 5～6 床上浸水9戸、床下浸水75戸  
H30.8.30～31 床上浸水2戸、床下浸水20戸



輪中堤整備状況 (R4.7月)



築堤工事で「ICT施工」を実施、工期短縮等により生産性向上

## 2. 令和2年7月豪雨等を踏まえた県管理河川の治水対策

### 令和4年度に整備効果発現が見込まれる主な箇所②

#### 大旦川（村山市河島 外）

- 最上川水位上昇に伴い大旦川水門が閉鎖し、浸水被害が発生
- 令和4年度末に調節池が一部完成予定

【被災状況(R2. 7月)】  
浸水面積406ha  
床上浸水28戸、床下浸水11戸



被災状況(R2.7月)

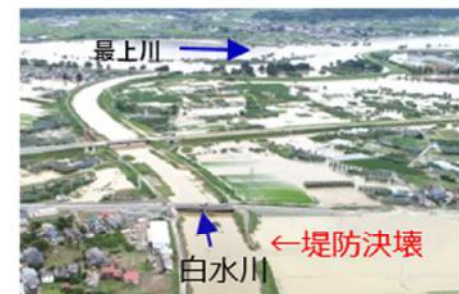


施工状況 (R4.11月)

#### 白水川（東根市松沢 外）

- 最上川のバックウォーターで堤防決壊し、浸水被害が発生
- 令和4年度末に堤防復旧・嵩上げが完成予定

【被災状況(R2. 7月)】  
浸水面積220ha  
床上浸水5戸、床下浸水20戸



被災状況(R2.7月)



施工状況 (R4.10月)

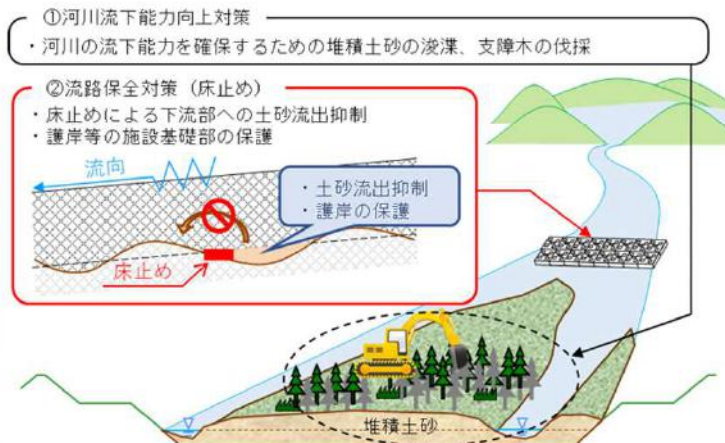
# 2. 令和2年7月豪雨等を踏まえた県管理河川の治水対策

## 流下能力の確保対策(河川流下能力向上・持続化対策事業(令和4年度～7年度))

- 平成24年度から、堆積土砂や支障木の撤去を実施し、氾濫を防ぐ効果を発揮
- 令和4年度から、下流への土砂流出対策などを加え、令和7年度までの4か年で集中的な対策を実施



取組み事例(堆積土砂の浚渫・支障木の伐採)



「河川流下能力向上・持続化対策計画」の概要イメージ

## 堤防の強靱化対策

- 河川堤防の決壊を防止するため、堤防補強(アスファルト舗装や法肩ブロックの設置)を実施
- これまでに約47kmの堤防補強を実施(令和4年5月末時点)、継続して強靱化対策を実施



堤防強靱化実施状況(升形川[新庄市])

## わかりやすい河川情報の発信

- スマートフォン画面对応による「河川・砂防情報システム」の利便性の向上(令和3年4月) <パソコン画面> <スマートフォン用画面>



スマートフォン画面運用のイメージ

# 3. 河川整備計画(知事管理区間)の変更

# 3-1. 最上川水系河川整備計画(県管理区間)策定状況

平成15年 9月24日策定

庄内圏域

平成15年 9月24日策定  
平成19年 1月16日変更

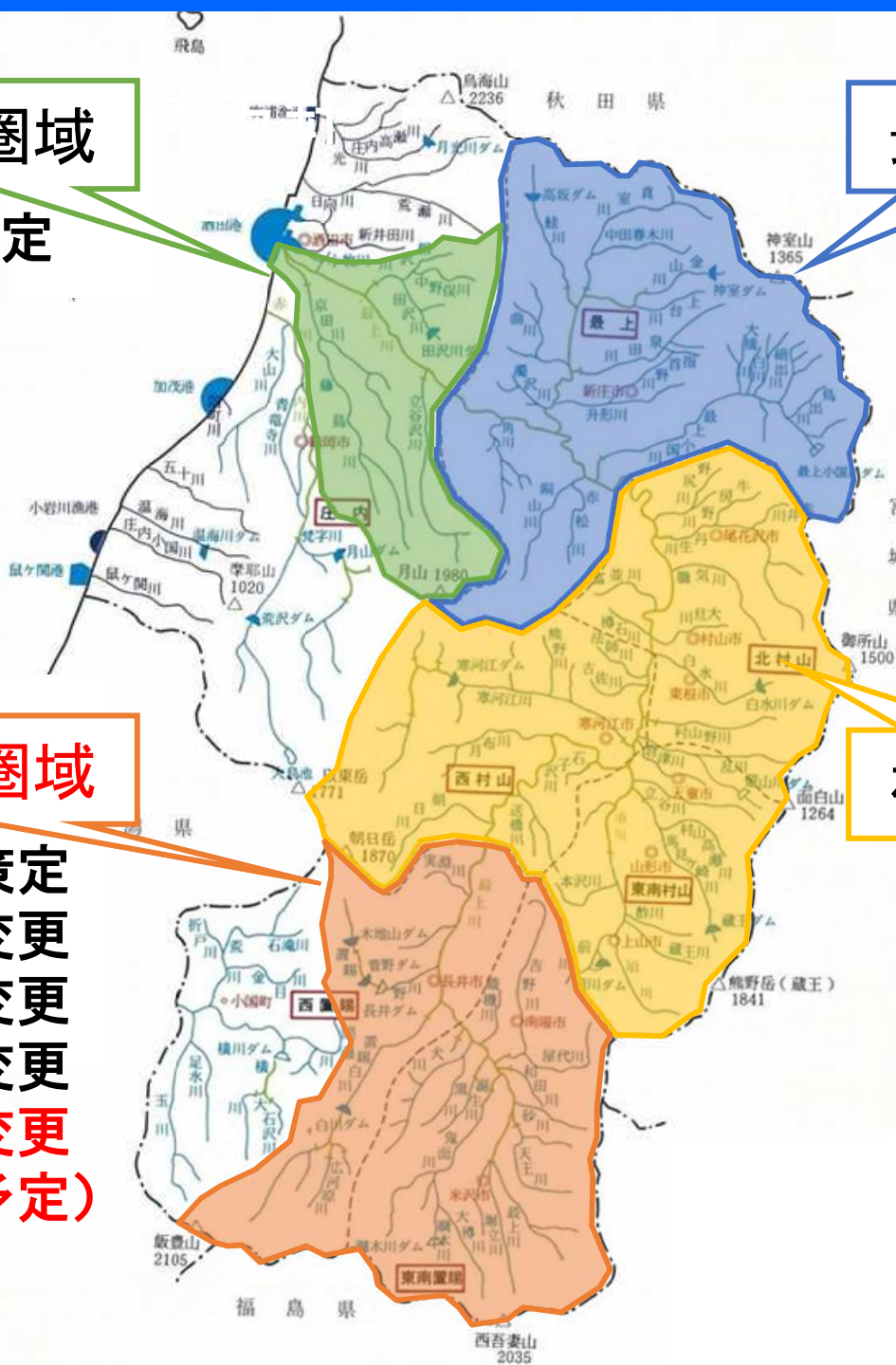
最上圏域

平成15年 9月24日策定  
平成26年 6月20日変更  
平成27年 3月24日変更  
令和 4年 3月 1日変更  
令和 5年 3月頃 変更  
(予定)

置賜圏域

平成15年 9月24日策定  
平成25年 3月 1日変更  
平成27年 3月24日変更  
令和 4年 3月 1日変更

村山圏域



## 3-2. 現行の河川整備計画について

- 河川整備計画では、築堤や河道拡幅等による河川整備を行う箇所と、維持管理を行う河川を区分している
- 置賜圏域では、過去の被害状況や緊急性、重要度等から優先的に整備する河川を評価し、現在、9河川について河川改修実施箇所を設定している

| 一次支川名 | 河川名 | 施行場所   |
|-------|-----|--|
| 貝生川   | 貝生川 | 最上川合流点上流1.5km地点から貝生地区までの0.3km区間                    |
| 置賜白川  | 菥生川 | 置賜白川合流点から吉祥寺橋下流までの1.7km区間                          |
| 誕生川   | 誕生川 | 最上川合流点上流8.5km地点から国道287号上流0.5km地点までの1.7km区間         |
| 吉野川   | 吉野川 | 最上川合流点上流2.0km（JR奥羽本線第一吉野川橋梁）から原橋上流0.3kmまでの13.1km区間 |
|       | 屋代川 | 吉野川合流点から上流7.0km区間                                  |
| 鬼面川   | 綱木川 | 米沢市大字築沢字糸畔地先に多目的ダムを整備する。                           |
| 羽黒川   | 羽黒川 | 最上川合流点から刈安川合流点上流JR橋までの10.0km区間                     |
| 織機川   | 織機川 | 最上川合流点上流4.0kmから四谷橋上流0.4kmまでの1.4km区間                |
| 和田川   | 和田川 | 最上川合流点上流2.4km（国道13号津久茂橋下流）から和田川橋下流までの1.6km区間       |

## 3-2. 現行の河川整備計画について

- 令和4年8月、飯豊町を流れる**小白川**及び**萩生川**では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続き、記録的な大雨となった
- 河川の流下能力を上回る流量が流れたことで、家屋倒壊、浸水、農地冠水及び河岸侵食など甚大な被害が発生した
- 令和4年8月の大雨相当の洪水において、再度災害防止を図るため、**小白川及び萩生川**において**改良復旧事業を実施**する

原形復旧ではなく、改良復旧(河川整備)を実施することから、河川整備計画への位置付けが必要

**河川整備計画を変更**

# 3-3. 整備計画の変更概要

## 変更理由

- ・ 令和4年8月の大雨の洪水により置賜を中心に河川の氾濫や土砂災害が発生
  - ・ 小白川: 流下能力不足により溢水氾濫、河岸侵食等が発生
  - ・ 萩生川: 流下能力不足により溢水氾濫、河岸侵食等が発生

➡ 原形復旧ではなく、改良復旧(河川整備)が必要

## 目標

計画対象期間 概ね30年間(平成15年～令和15年)  
計画対象区間 一級河川最上川水系置賜圏域におけるすべての知事管理区間(河川93河川、約520km)  
目標とする治水安全度 昭和42年8月の羽越水害、平成26年7月水害、令和元年10月の東日本台風(台風第19号)及び令和4年8月の大雨相当によるそれぞれの降雨規模の洪水を安全に流下させる  
最上川の背水(バックウォーター)による浸水被害を防ぐ

## 基本的な考え方

- <治水> 洪水から貴重な生命・財産を守り安全で安心できる地域の創出
- <利水> かんがい用水や生活用水等の安定供給
- <環境> 多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の提供、豊かな環境のバランスのとれた保全と利用、地域との連携
- <維持管理> 河川の持つ機能が維持できるよう、定期的な点検や補修等、整備した施設の継続的な維持管理

## 治水

上記目標とする治水安全度を確保するために整備を実施する河川として、**小白川、萩生川\***を追加[追加]

※萩生川は区間を追加

## 維持管理

河川管理施設、河川敷地内樹木、堆積土砂、克雪対策、水質、水質事故、

## 河川愛護

地域と一体となった川づくり、河川愛護

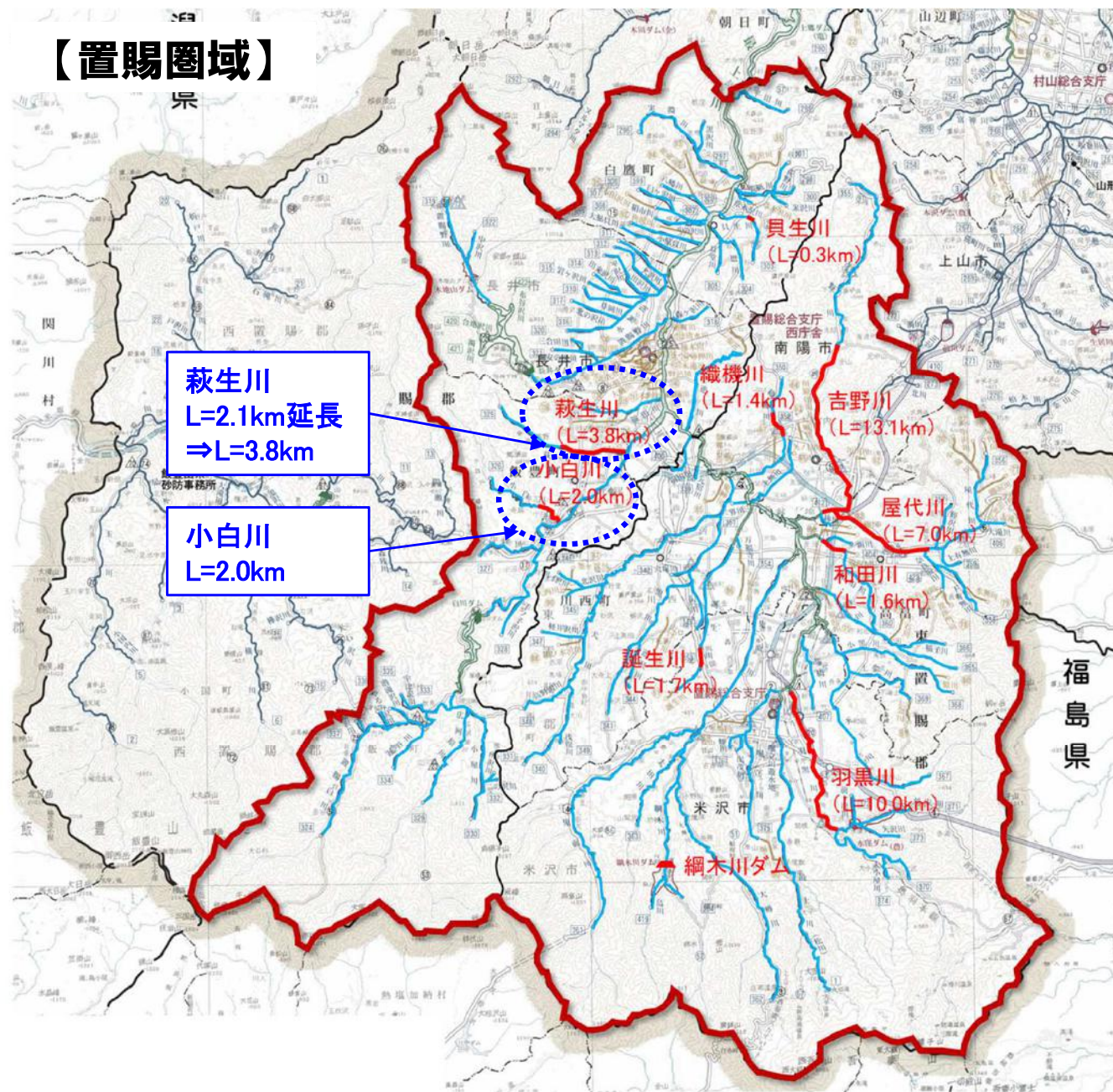
## その他

水防災意識社会再構築の推進、流域治水の推進

[赤字:追加変更箇所]



### 3-4 整備計画に新たに追加する河川



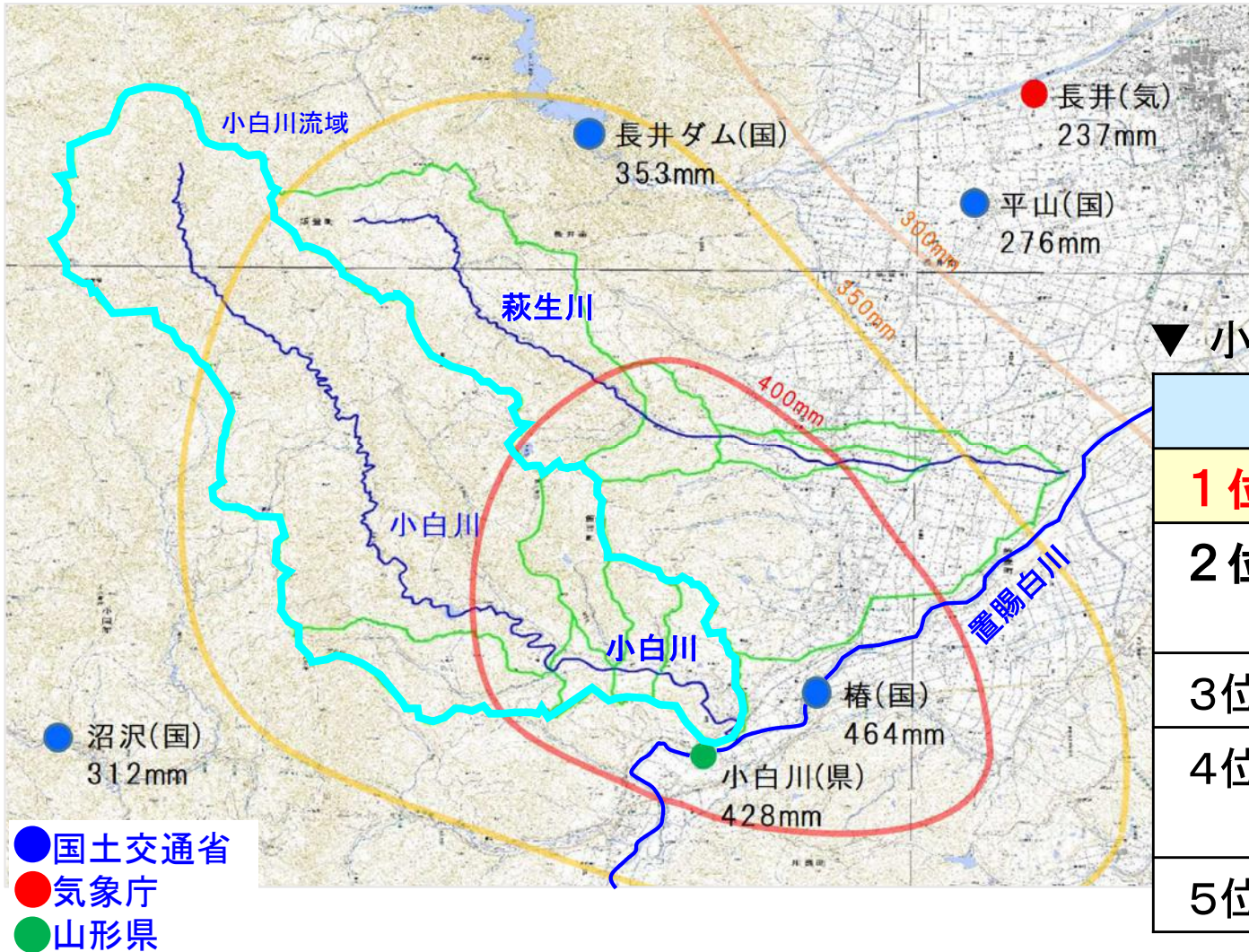
- 小白川について、新たに河川整備を行う河川として位置付ける
- 萩生川について、新たに河川整備を行う区間を追加する

# (1) 小白川の河川整備について ～令和4年8月の大雨の概要～

## ■降雨状況

令和4年8月大雨では、8月3日明方からの集中的な降雨により、樺観測所(国土交通省)と小白川観測所(山形県)で日雨量400mm上回る記録的な大雨となりました。

## ▼ 等雨量線図(日雨量)



## ▼ 小白川の河川延長、流域面積

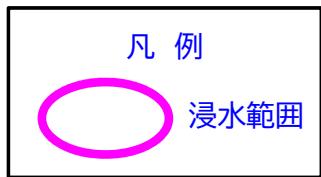
|      |                     |
|------|---------------------|
| 延長   | 5.5km               |
| 流域面積 | 30.0km <sup>2</sup> |

## ▼ 小白川流域の平均雨量(S32～R4)

|    | 洪水名                     | 24時間雨量  |
|----|-------------------------|---------|
| 1位 | R4.8.3洪水                | 387.2mm |
| 2位 | S42.8.28洪水<br>(羽越水害)    | 286.2mm |
| 3位 | S32.7.7洪水               | 194.2mm |
| 4位 | R2.7.28洪水<br>(令和2年7月豪雨) | 189.7mm |
| 5位 | H26.7.9洪水               | 182.7mm |

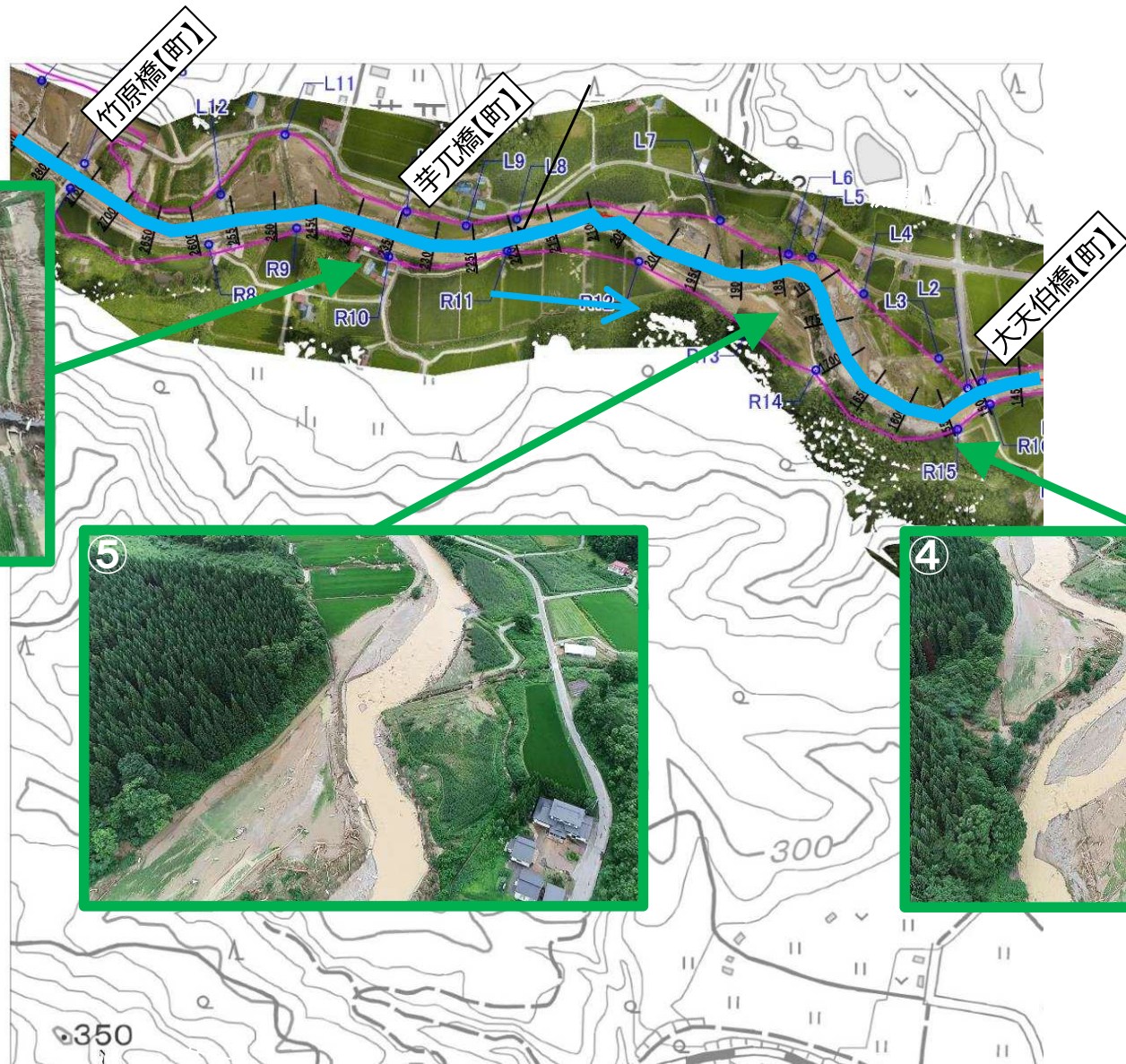
# (1) 小白川の河川整備について ～令和4年8月の大雨の概要～

○ 河川の流下能力を上回る流量が流れたことで、浸水、農地冠水、河岸侵食及びJR橋や県道橋等が落橋するなど甚大な被害が発生した



# (1) 小白川の河川整備について ～令和4年8月の大雨の概要～

○ 河川の流下能力を上回る流量が流れたことで、浸水、農地冠水、河岸侵食及びJR橋や県道橋等が落橋するなど甚大な被害が発生した



# (1) 小白川の河川整備について ～治水対策の目標～

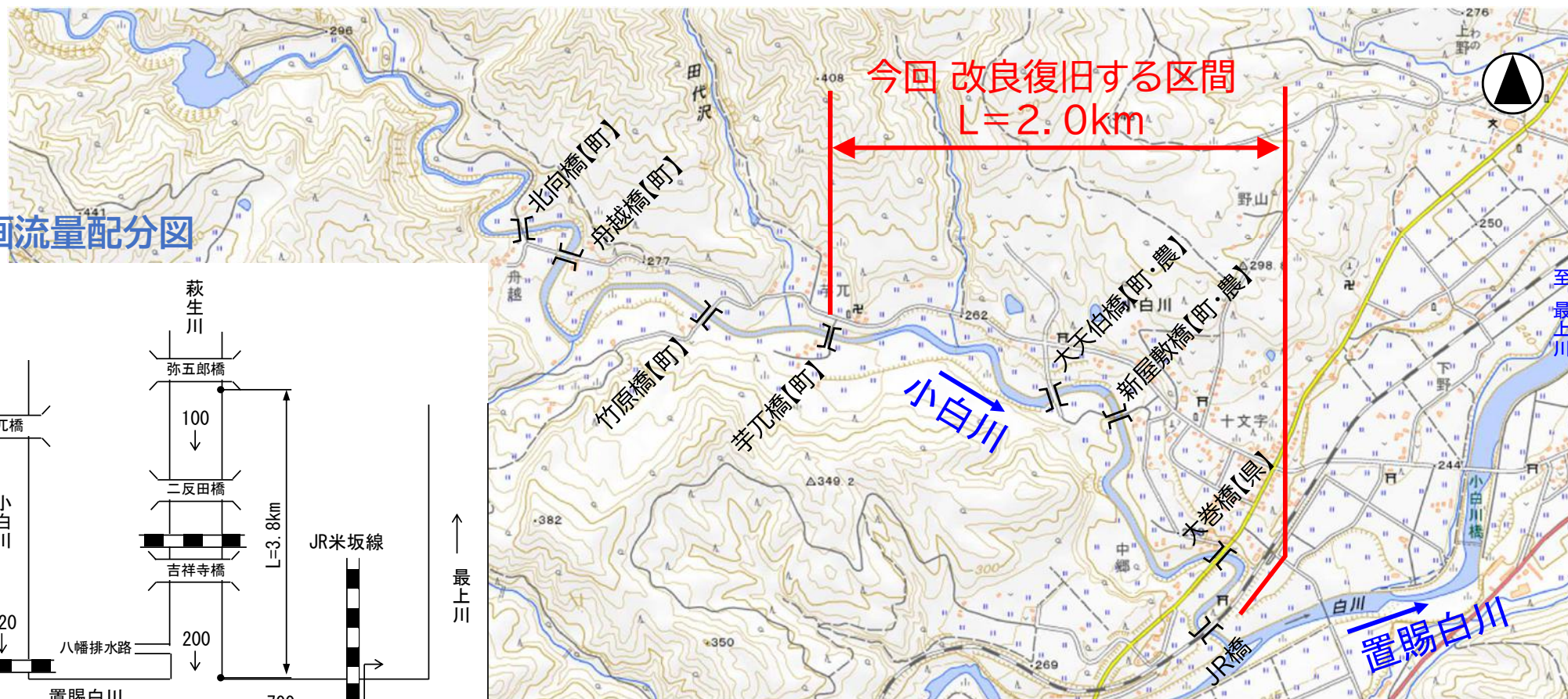
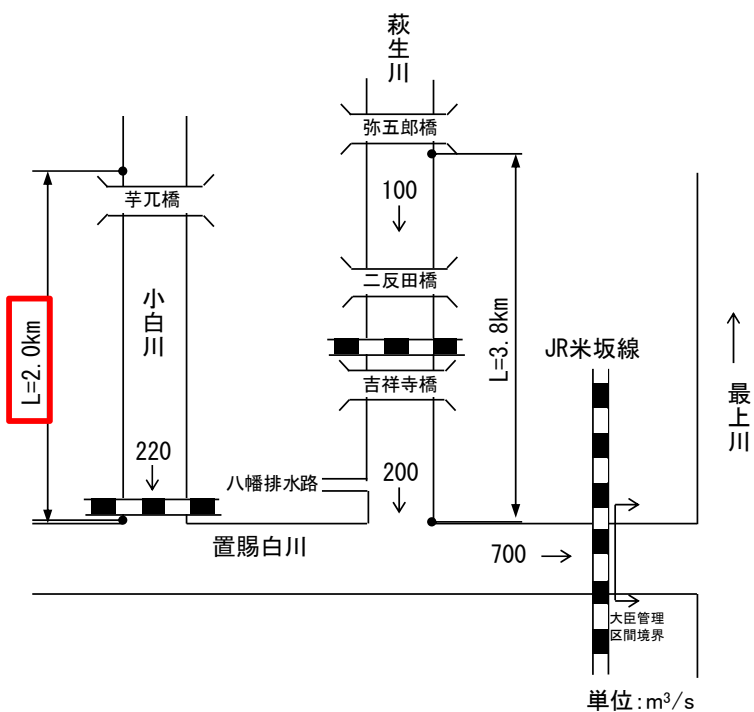
## 【整備目標】

令和4年8月の大雨相当の降雨規模の洪水を安全に流下させることを目標とする

## 【計画区間】

置賜白川合流点から芋兀橋上流までの2.0km区間

## ▼ 計画流量配分図



# (1) 小白川の河川整備について ～計画内容～

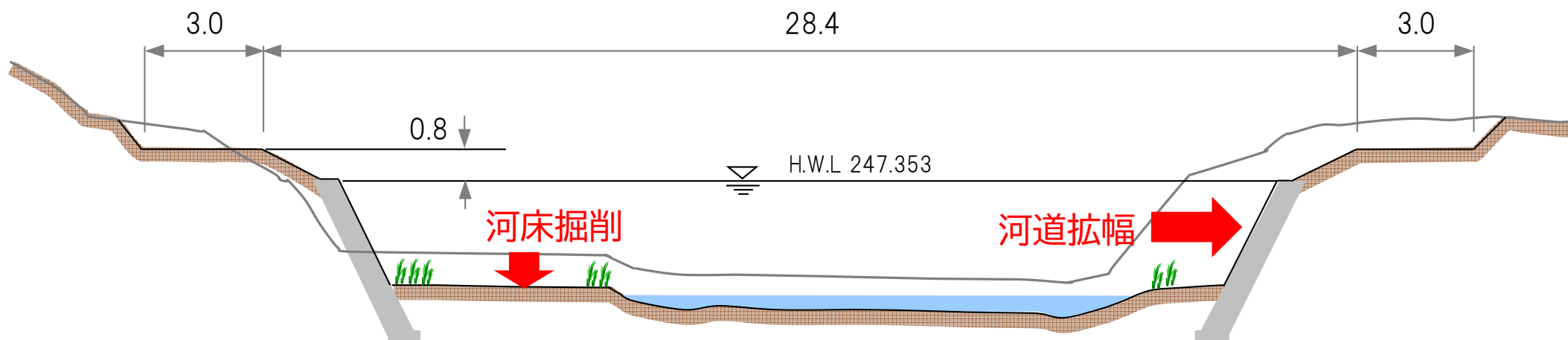
## 【河川の整備】

流下能力を向上させるために、河道掘削(河道拡幅や河床掘削)を実施する

## 【配慮事項】

河道については、瀬や淵・やわらかな水際線の創出を図ると共に、床止め工には魚道を整備し、多様な動植物の生息環境の保全・復元に努める

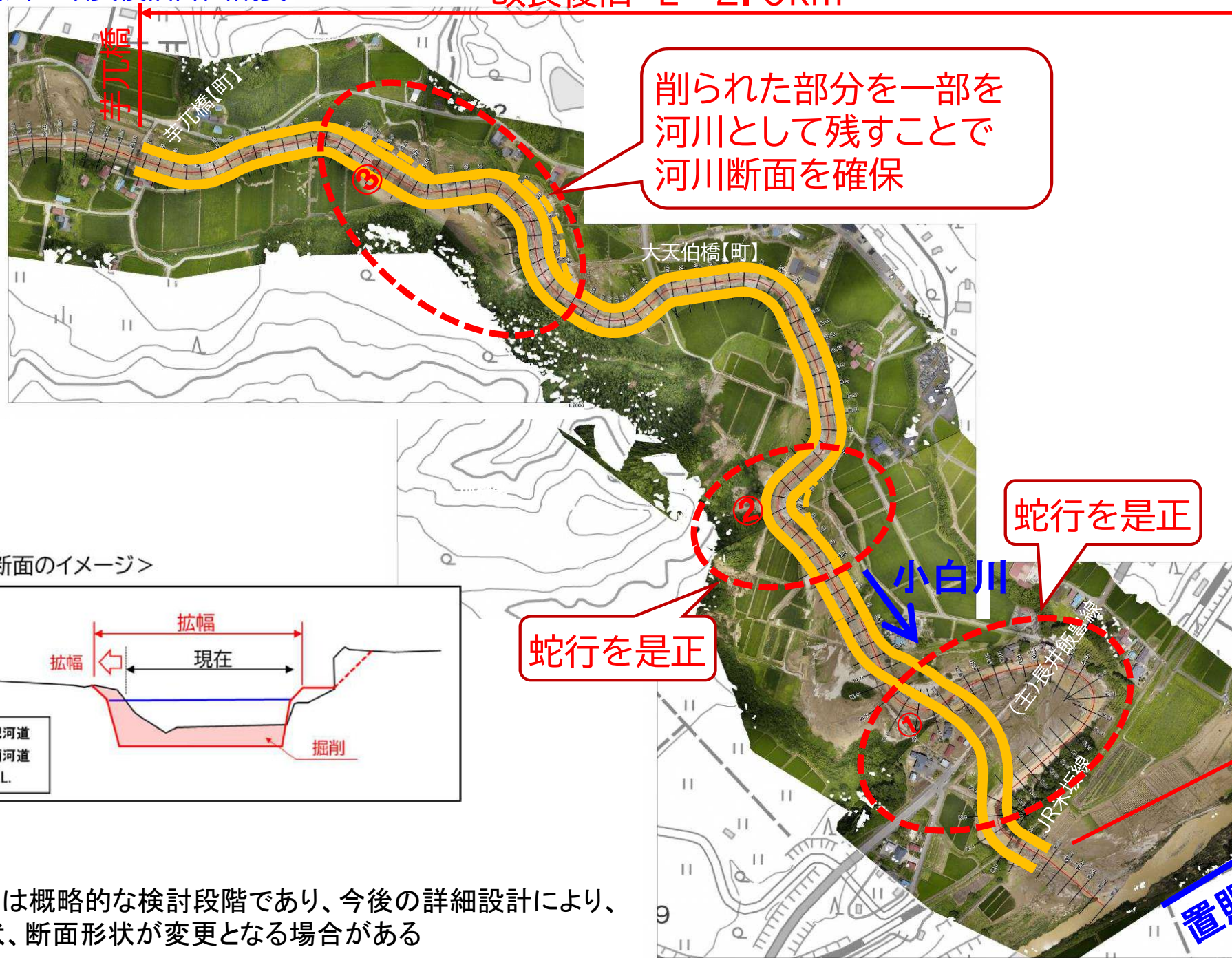
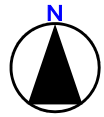
### ▼ 小白川の改良復旧の代表断面図



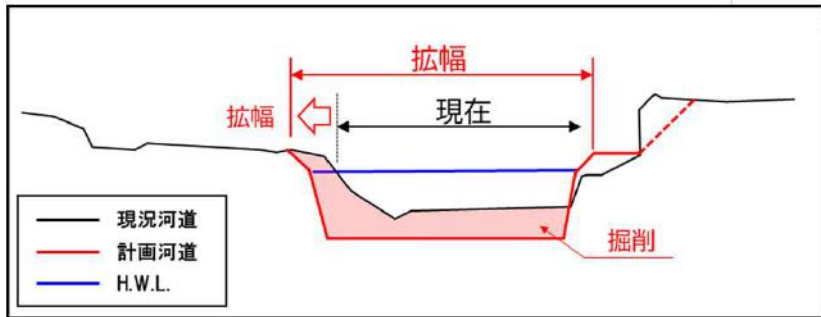
# (1) 小白川の河川整備について ~計画内容~

## ▼ 小白川の改良復旧計画概要

改良復旧 L=2.0km



<改良断面のイメージ>



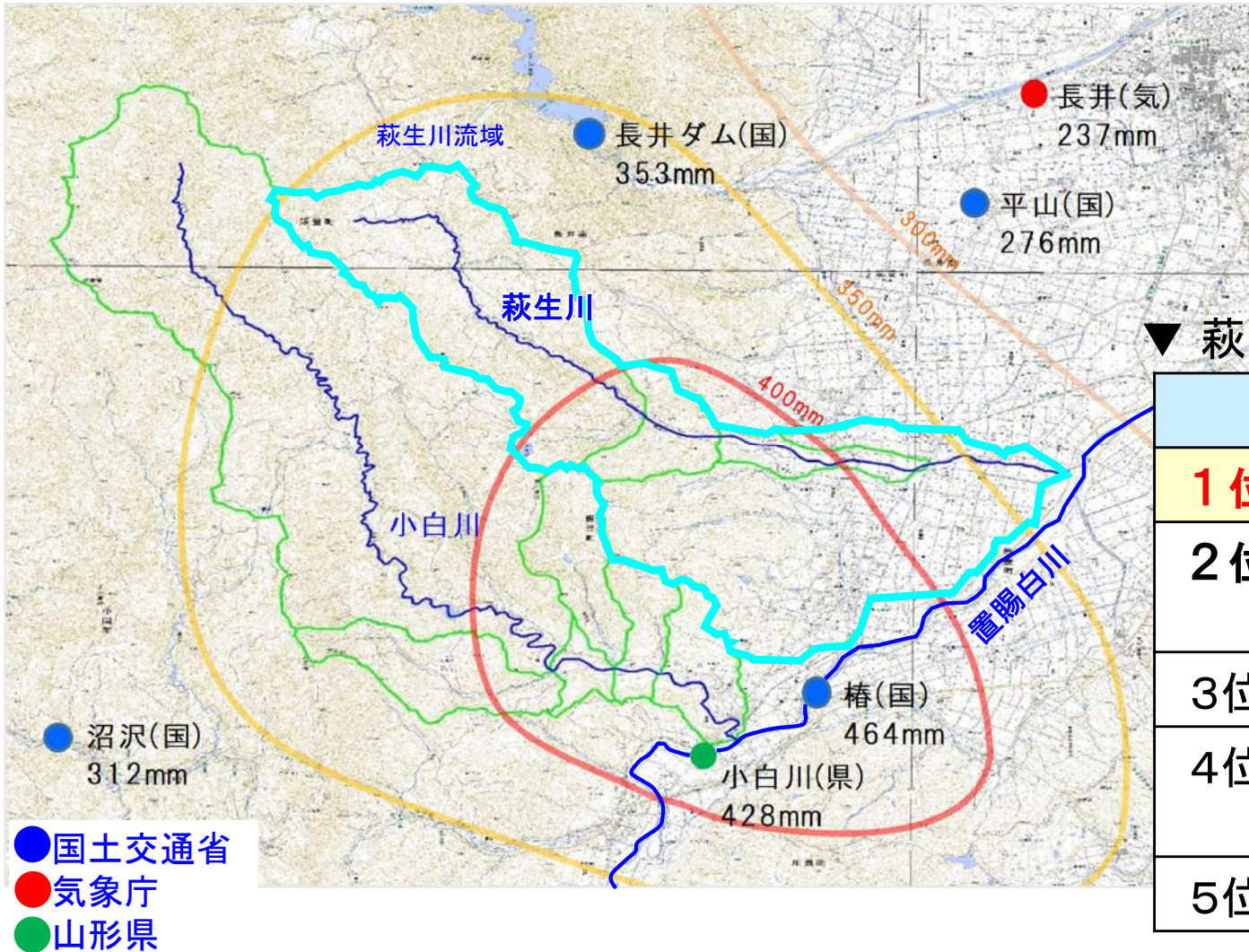
※この計画は概略的な検討段階であり、今後の詳細設計により、平面形状、断面形状が変更となる場合がある

## (2) 萩生川の河川整備について ～令和4年8月の大雨の概要～

### ■降雨状況

- 令和4年8月の大雨では、8月3日明方からの集中的な降雨により、椿観測所(国土交通省)と小白川観測所(山形県)で日雨量400mm上回る記録的な大雨となった

### ▼ 等雨量線図(日雨量)



### ▼ 萩生川の河川延長、流域面積

|      |                     |
|------|---------------------|
| 延長   | 8.0km               |
| 流域面積 | 22.7km <sup>2</sup> |

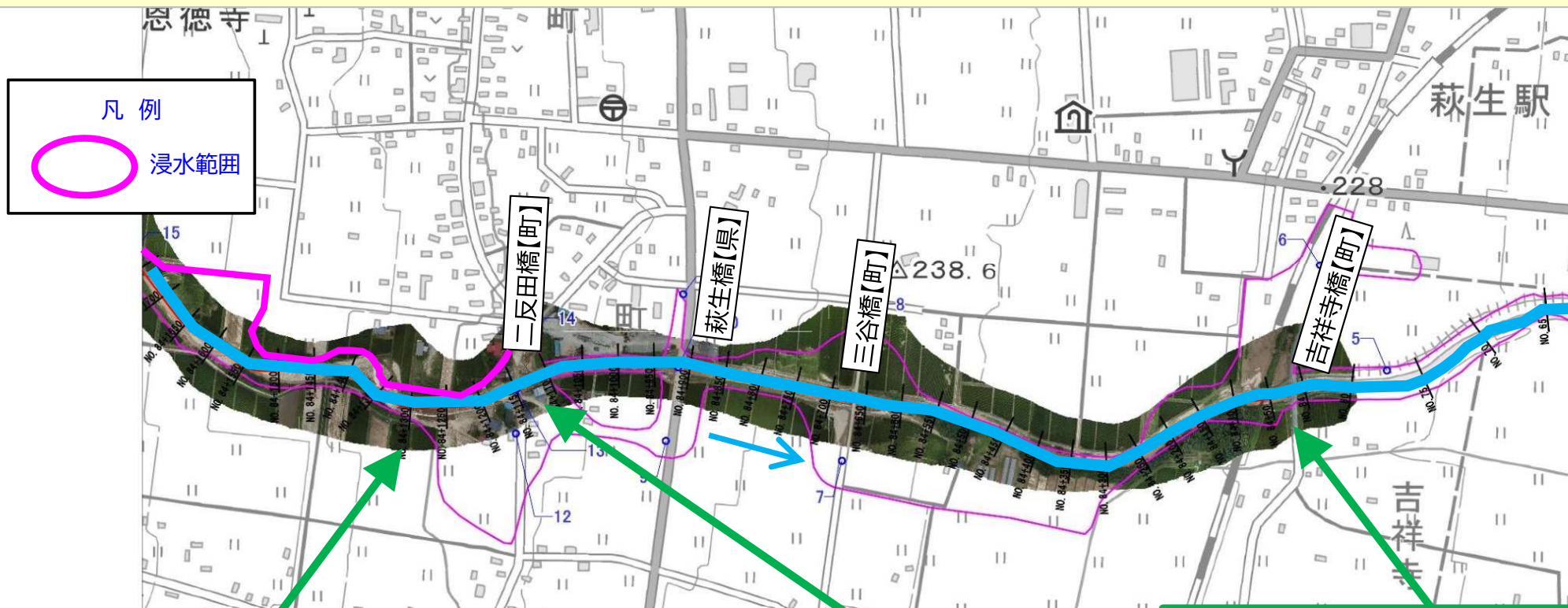
### ▼ 萩生川流域の平均雨量(S32～R4)

|    | 洪水名                     | 24時間雨量  |
|----|-------------------------|---------|
| 1位 | R4.8.3洪水                | 422.3mm |
| 2位 | S42.8.28洪水<br>(羽越水害)    | 290.7mm |
| 3位 | S32.7.7洪水               | 211.1mm |
| 4位 | R2.7.28洪水<br>(令和2年7月豪雨) | 195.9mm |
| 5位 | H26.7.9洪水               | 180.0mm |



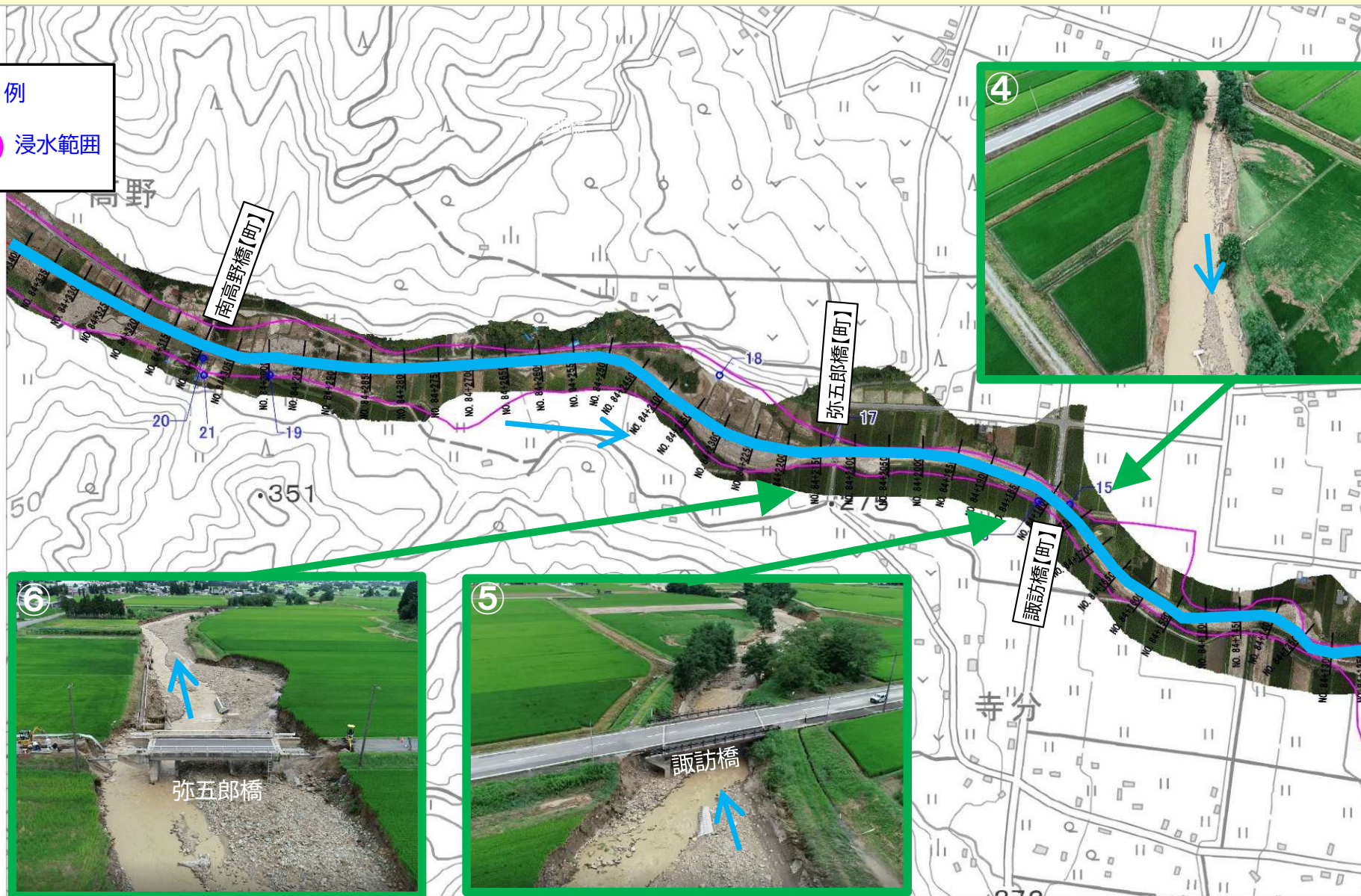
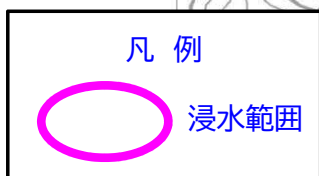
## (2) 萩生川の河川整備について ～令和4年8月の大雨の概要～

- 河川の流下能力を上回る流量が流れたことで、家屋倒壊、浸水、農地冠水 及び河岸侵食など甚大な被害が発生した
- 上流から流出してきた土砂が河道へ堆積したことによって溢水が拡大した



## (2) 萩生川の河川整備について ～令和4年8月の大雨の概要～

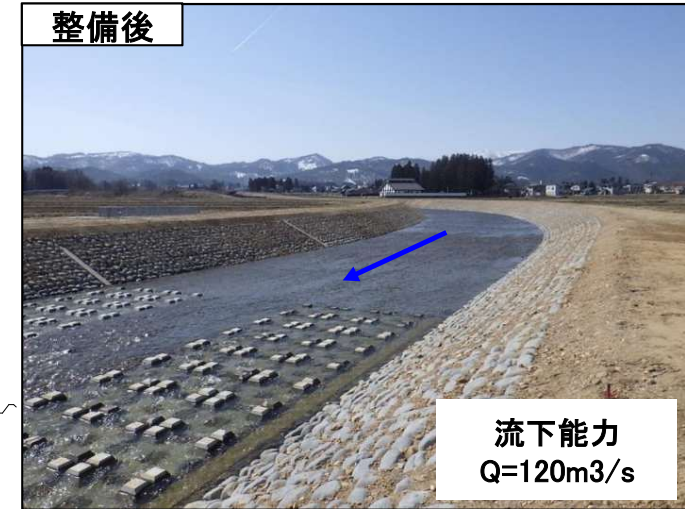
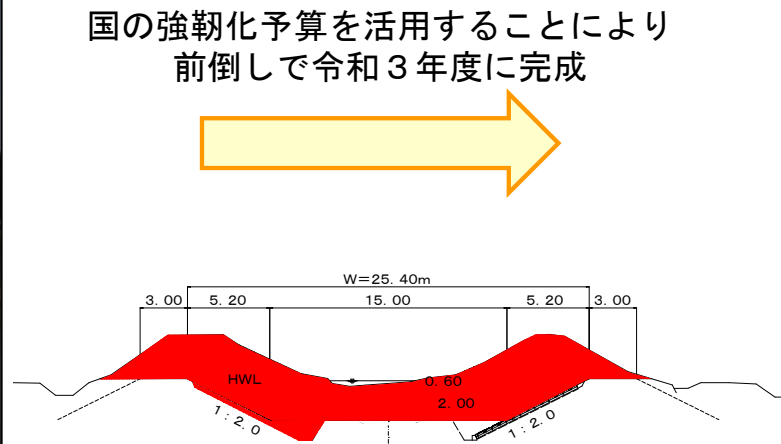
- 河川の流下能力を上回る流量が流れたことで、家屋倒壊、浸水、農地冠水 及び河岸侵食など甚大な被害が発生した
- 上流から流出してきた土砂が河道へ堆積したことによって溢水が拡大した



# (2) 萩生川の河川整備について ～令和4年8月の大雨の概要～

## ■整備済み区間の整備効果

- 天井川の解消及び河積拡大を目的に河道掘削を実施したことにより、**令和4年8月の大雨において、河川整備計画に基づく整備済区間(吉祥寺橋下流～置賜白川合流点)での氾濫・決壊なし**  
(上流の昭和42年羽越水害に伴う災害復旧助成事業(昭和42～45年)による整備区間においては、大規模な浸水被害が発生)



### 【過去の被害状況】



【昭和42年羽越水害】  
24h雨量：270mm  
(高峰(飯豊町))  
浸水面積：596ha  
浸水家屋：570戸

【昭和62年8月豪雨】  
浸水面積：1ha  
浸水家屋：10戸

### 【整備の効果】

#### 令和4年8月の大雨

24h雨量：307mm  
(高峰(飯豊町))  
浸水被害：なし  
(整備済区間)

※一部護岸欠損被害あり



# (2) 萩生川の河川整備について ~治水対策の目標~

## 【整備目標】

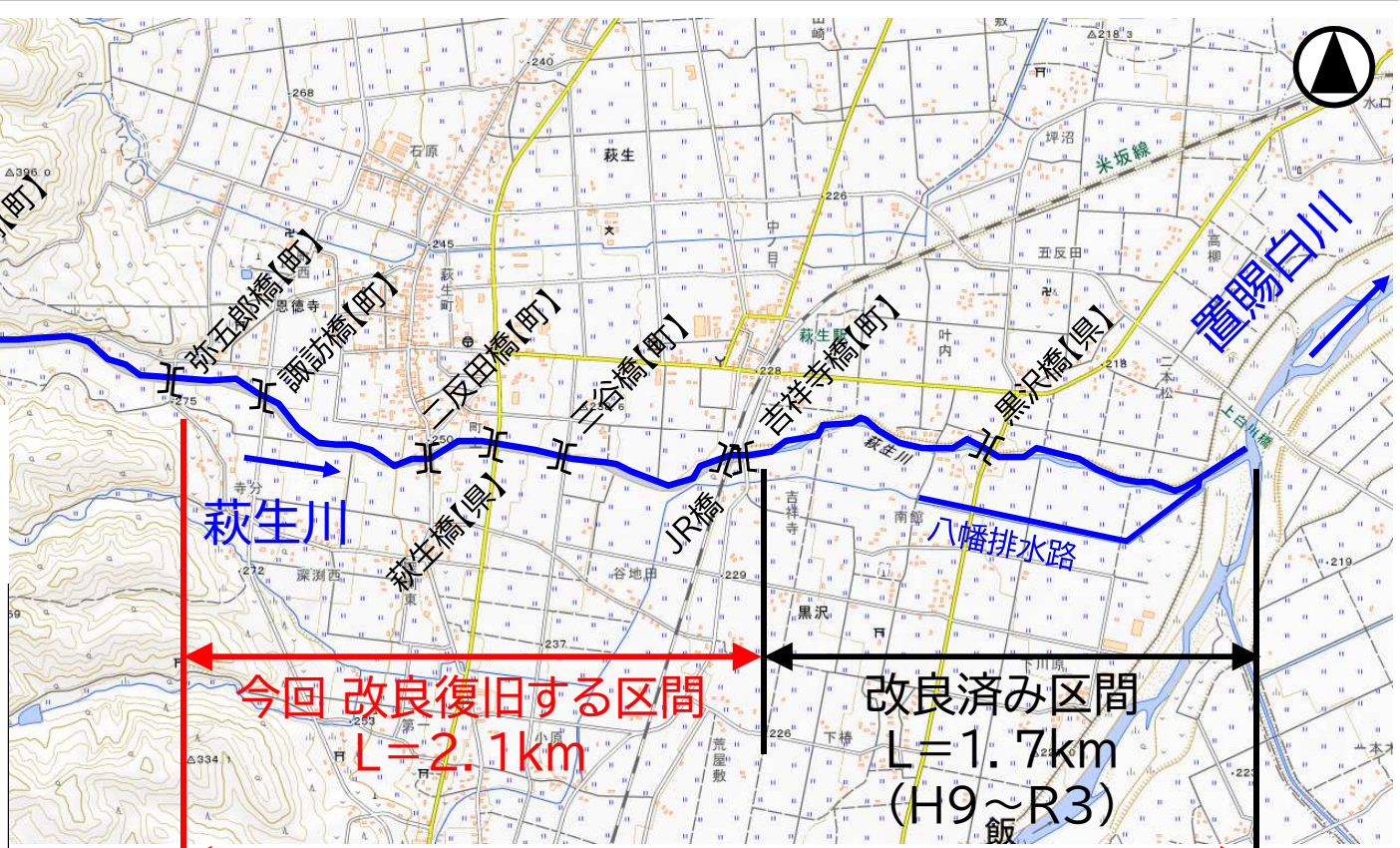
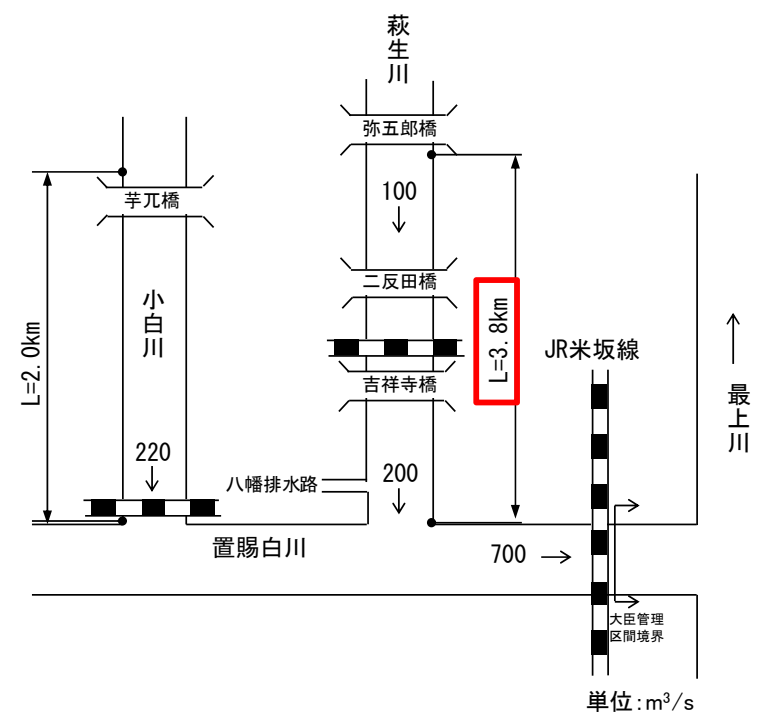
令和4年8月の大雨相当の降雨規模の洪水を安全に流下させることを目標とする

## 【計画区間】

置賜白川合流点から弥五郎橋下流までの3.8km区間

【砂防事業】  
砂防えん堤の改築  
(土砂供給抑止)

## ▼ 計画流量配分図



今回 改良復旧する区間  
L=2.1km

改良済み区間  
L=1.7km  
(H9~R3)

【河川整備計画】  
計 L=3.8km

## (2) 萩生川の河川整備について ～計画内容～

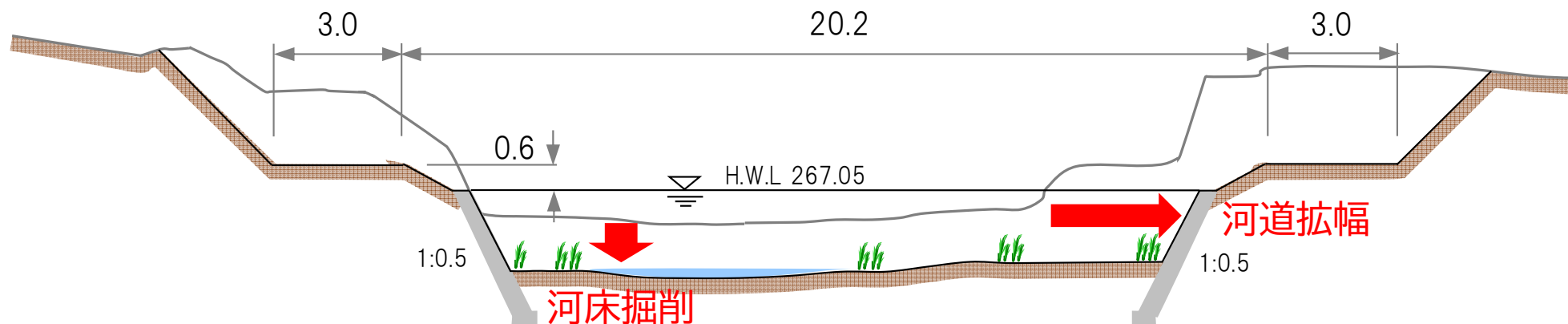
### 【河川の整備】

流下能力を向上させるために、河道掘削(河道拡幅や河床掘削)を実施する

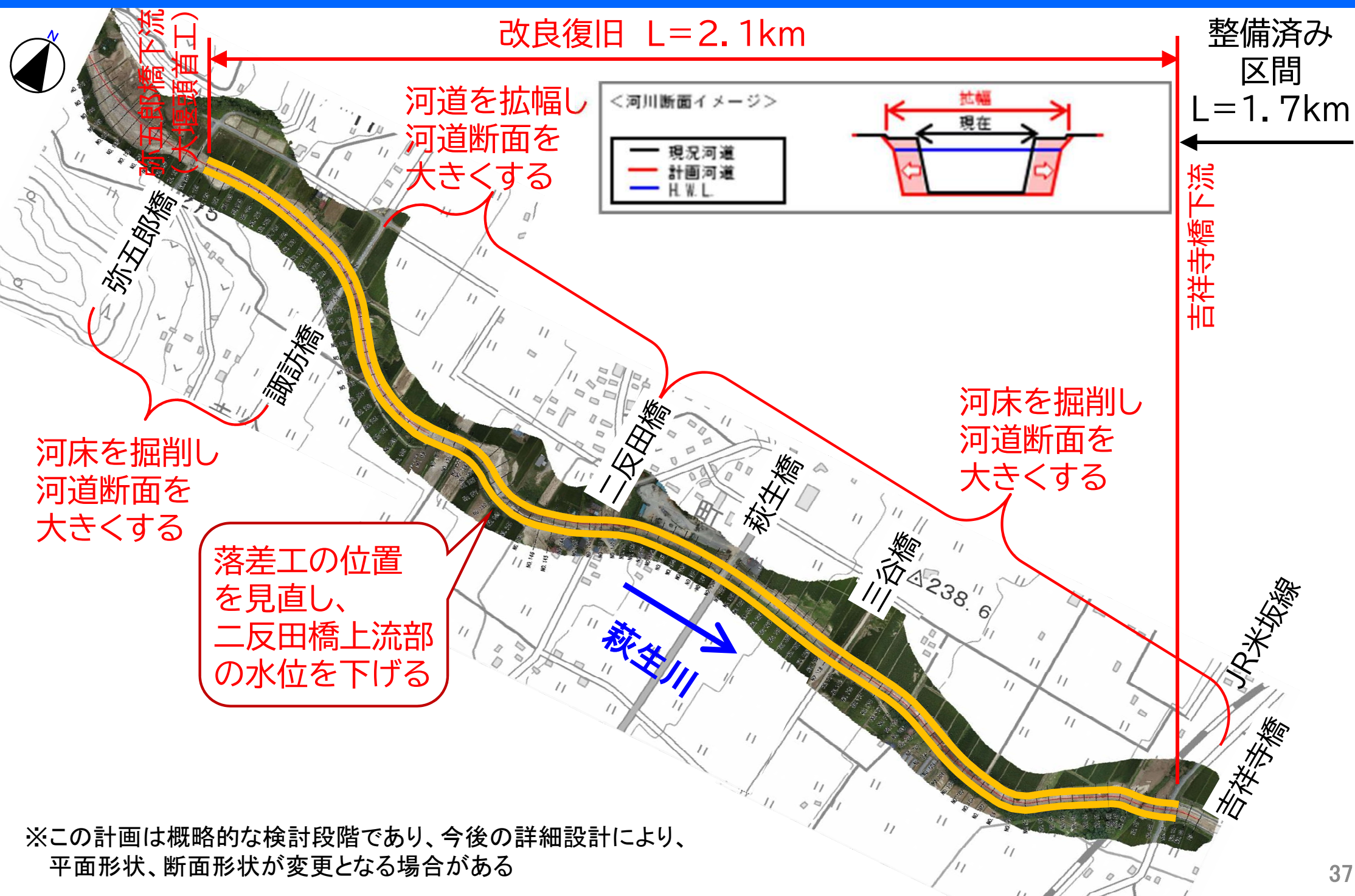
### 【配慮事項】

河道については、瀬や淵・やわらかな水際線の創出を図ると共に、床止め工には魚道を整備し、多様な動植物の生息環境の保全・復元に努める

### ▼ 萩生川の改良復旧の代表断面図



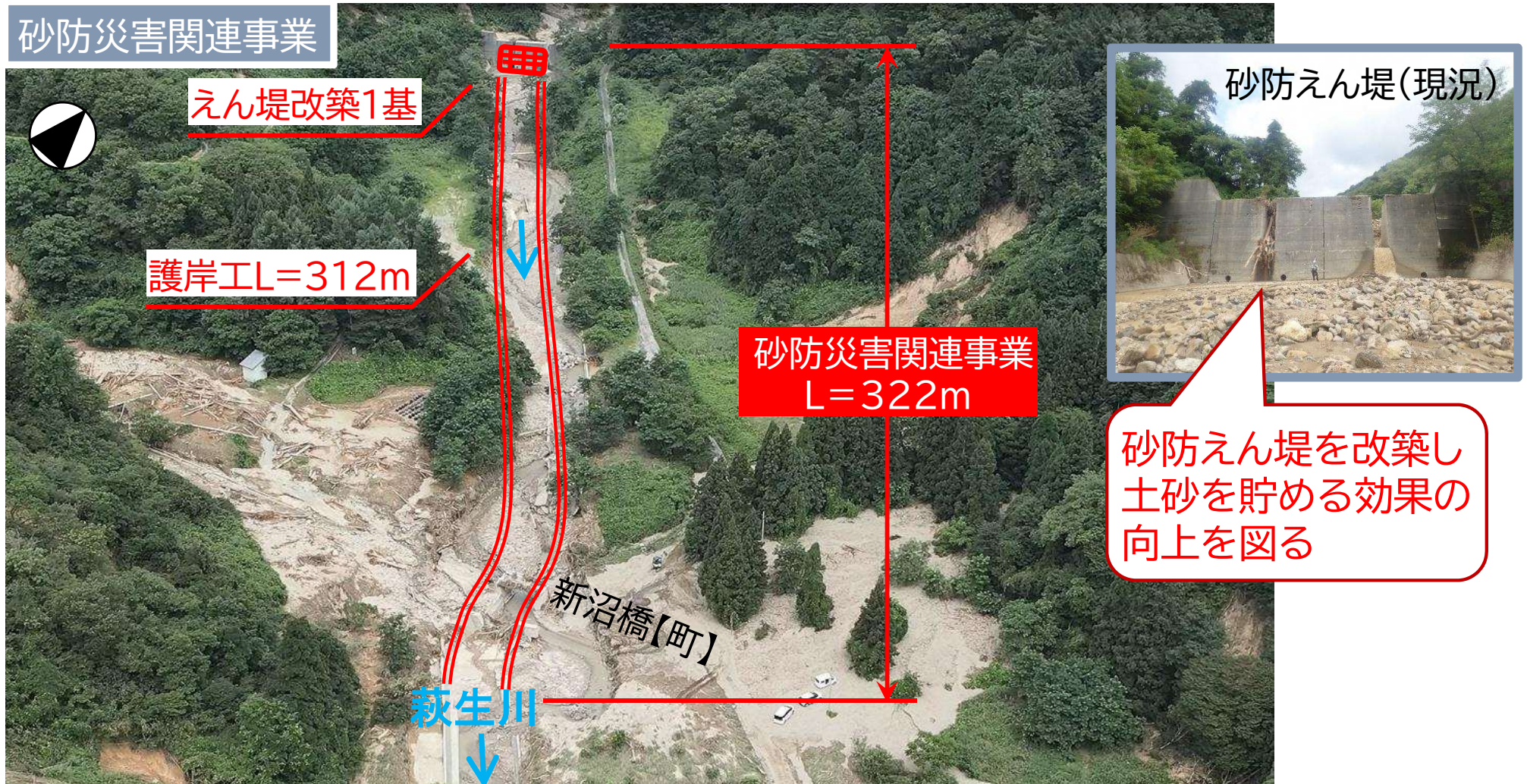
## (2) 萩生川の河川整備について ～計画内容～



※この計画は概略的な検討段階であり、今後の詳細設計により、  
平面形状、断面形状が変更となる場合がある

## (2) 萩生川(参考)砂防事業 ～令和4年8月の大雨を踏まえた改良復旧計画～

- 令和4年8月の大雨では、萩生川上流において山間斜面の崩壊が多数発生した
- この崩落土砂が下流河川に流入したことにより、河道が埋塞し溢水被害を拡大させた
- 萩生川の上流域には、未だ大量の不安定土砂が堆積しており、今後の降雨より再度の土砂流出が発生し、再度災害が懸念される
- このため、災害関連事業において砂防えん堤の改築、護岸工の復旧等を行い被災原因の除去を行う



# (3) 災害緊急調査及び多自然川づくりアドバイザー現地調査

## ■災害緊急調査

- 小白川、萩生川の被災箇所について、早期の復旧につなげていくため、国土交通省の災害査定官から現場調査していただく
- 調査した結果、原形復旧ではなく改良復旧を実施することについて助言をいただく

## ◆調査概要

- ・ 実施日 令和4年8月9日 打合せ  
10日 現場調査
- ・ 調査場所 小白川、大巻橋、萩生川（飯豊町）
- ・ 調査官 国土交通省水管理・国土保全局防災課  
災害査定官、改良計画係長

## ◆状況写真



打合せ



現場調査(小白川)



現場調査(萩生川)



ぶら下がり取材

## ■多自然川づくりアドバイザー現地調査

- 小白川、萩生川の改良復旧計画を検討するにあたり、専門機関から多自然川づくりアドバイザーを派遣いただき、専門的な見に基づく技術的助言をいただく

## ◆調査概要

- ・ 調査日 令和4年9月27日
- ・ 調査項目 1. 概要説明  
2. 現地調査 小白川、萩生川  
3. 検討・講評
- ・ 多自然川づくりアドバイザー  
国土交通省 国土技術政策総合研究所  
河川研究部河川研究室 室長  
国立研究開発法人 土木研究所 流域水環境研究グループ  
流域生態チーム 上席研究員  
国立研究開発法人 土木研究所 自然共生研究センター  
センター長 (Web参加)

## ◆状況写真



現場調査(小白川)



現場調査(萩生川)



現場調査(萩生川)



検討・講評



# 3-5. 公聴会(住民説明会)での主な意見

## ■住民公聴会 概要

小白川 : 令和4年12月20日(火) 飯豊町立第一小学校体育館(飯豊町)  
 萩生川 : 令和4年12月22日(木) //

| 河川  | 主な意見  | 県の回答   |
|-----|---|--|
| 小白川 | 芋兀橋を架替えないとのことだが大丈夫か。  | 芋兀橋については、構造物に影響しない範囲で河床掘削し、下流の河道断面と同様の断面に拡幅して流下断面を確保していく。                                  |
|     | 芋兀橋上流は改良しないとのことだが大丈夫か。  | 芋兀橋上流については、護岸等壊れたところは原型復旧をしっかりと行う。あわせて、河道に堆積した土砂を撤去することで流下能力を上げていくことを考えている。                |
|     | 大天伯橋はそのまま利用するとのことだが、ネックにならないか。  | 大天伯橋は桁下高が高く流下断面の確保が可能であるため、現在の橋で流下させることが可能である。   |
|     | 災害に強い河川をつくっていただきたい。   | しっかりと調査して今後の詳細設計に反映させたい。   |
|     | 今までの川幅よりも倍以上の川幅が無いと、また同じことになるのではと感じている。   | 河川の断面については、令和4年8月の大雨の際の流出解析の結果を基に、必要な断面をしっかりと確保して今後詳細設計をしていく。                              |
|     | 全国的に遊水地を設けているところもあるかと思うが、小白川ではどうか。  | 小白川は山間部を流れる急流河川であり十分な水位抑制効果を有する遊水地整備は困難であると考えている。  |
| 萩生川 | 河床掘削や拡幅をすると、流量が増え流下するエネルギーが増加すると考えるが、護岸などの施設設計はどのようになるか。                                    | 河川の流速等を把握し、適切な施設設計を行っていく。  |
|     | 8月大雨の際に山から木が流れ出し被害が生じている。農林サイドと連携して対策を講じてもらいたい。   | 山地対策について、今後町と連携して対策を検討していく必要があると考える。   |
|     | 河川の設計に住民等の意見は盛り込んでいただけるのか。  | 住民の方々からいただいた意見も踏まえて、詳細設計を行っていく。  |
|     | 萩生川下流の整備した際はJR橋の上流部まで改修の話と聞いた覚えがある。JR橋上流まで改修していれば、より安心できたと考える。また、今回JR橋部分の拡幅など改良を実施すべきではないか。 | 令和3年度までに整備した萩生川の下流区間については、吉祥寺川の下流までの整備計画である。今回の整備計画の変更で、JR橋を含む上流部まで改修を行い、流下断面を確保していくこととした。 |



R4.11.20 小白川公聴会(飯豊町)状況



R4.11.22 萩生川公聴会(飯豊町)状況

# 3-6. パブリック・コメントでの主な意見

## ■パブリック・コメント概要

### <募集期間>

令和4年12月23日(金)～令和5年1月22日(日)

### <公表資料>

- ・最上川水系置賜圏域河川整備計画(知事管理区間)(変更素案)
- ・最上川水系置賜圏域河川整備計画(知事管理区間)(変更素案)新旧対比表
- ・小白川 説明資料(住民公聴会資料)
- ・萩生川 説明資料(住民公聴会資料)
- ・意見提出様式

### <実施場所>

山形県(県庁、各総合支庁、県HP)

## ■パブリック・コメント結果 40件 (意見提出者数 5名)

## ■主な意見と県の回答案

### 1 小白川・萩生川の改良復旧に関する県の考えについて

※多数ご意見をいただいたため要約して掲載

| No. | 意見                 | 県の回答案   |
|-----|--------------------|---|
| ①   | 小白川・萩生川の河川整備計画策定方針 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県では、県民の安定的な日常生活を一日も早く取り戻すため、市町村等と連携し、災害復旧に全力を挙げ取り組んでいるところです。</li> <li>・今回の河川整備計画の変更では、河川法に基づき、河川整備(改良復旧)する内容について定めるものです。</li> <li>・県では、速やかに小白川・萩生川にかかる河川整備計画を策定し、早期の復旧復興を図ってまいります。</li> </ul> |

### 2 住民参加について

| No. | 意見                  | 県の回答案  |
|-----|---------------------|--|
| ①   | 河川整備計画策定における住民意見の反映 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の河川整備計画の変更は、災害復旧と併せて河川整備(改良復旧)を行う内容を定めるものです。</li> <li>・河川法では、河川整備計画の変更にあたり「公聴会の開催等関係住民の意見を反映させるために必要な措置を講じる」とことと定められており、住民公聴会の開催やパブリック・コメントを実施しております。</li> </ul> |



山形県HP掲載状況

# 3-6. パブリック・コメントでの主な意見

## 2 住民参加について

| No. | 意見               | 県の回答案   |
|-----|------------------|---|
| ②   | 河川の設計における住民意見の反映 | <ul style="list-style-type: none"><li>今後の河川設計の際に、地域住民の方のご意見を踏まえるとともに、パブリック・コメントのご意見につきましては、事業を進めるうえで参考とさせていただきます。</li></ul>   |
| ③   | 河川管理における住民参加     | <ul style="list-style-type: none"><li>県では、県民・企業・行政の連携・協働により河川の良い環境形成の推進と愛護精神の醸成を図ることを目的に、「ふるさとの川愛護活動支援事業」や「きれいな川で住みよいふるさと運動」を実施し、萩生川・小白川においても多くの住民より活動いただいております。なお、パブリック・コメントのご意見につきましては、今後の河川管理における住民参加のあり方を検討する上で参考とさせていただきます。</li><li>河川管理施設の異常の把握につきましては、従来から地域住民の方からご協力をいただいているところではありますが、県では、樋門のゲート開閉操作が不要となるフラップゲート化を推進する等、省力化を図っているところです。</li></ul> |
| ④   | 住民主体の防災・減災の取組    | <ul style="list-style-type: none"><li>「最上川水系流域治水協議会」および「大規模氾濫時の減災対策協議会」等の枠組みを活用し、飯豊町による防災・減災の取組を支援してまいります。</li></ul>  |

## 3 計画目標・改良手法等について

| No. | 意見                  | 県の回答案   |
|-----|---------------------|---|
| ①   | 主要な被災要因             | <ul style="list-style-type: none"><li>令和4年8月3日の大雨では、椿観測所(国土交通省)と小白川観測所(山形県)で日雨量400mmを上回る記録的な大雨により、河川の流下能力を上回る雨水により、甚大な被害が発生したと考えております。</li><li>萩生川では上流から流出してきた土砂が河道へ堆積したことで溢水が拡大したと考えております。</li></ul> |
| ②   | 改良復旧区間の設定について       | <ul style="list-style-type: none"><li>今回改良復旧する区間としては、河川からの溢水状況、河川の流下能力、河川背後の状況(地盤高や土地利用)及び河川管理施設の被災状況等を勘案し設定しております。</li></ul>   |
| ③   | 改良復旧区間以外の対応について(河川) | <ul style="list-style-type: none"><li>改良復旧区間より上流につきましては、被災した護岸等を復旧するとともに、堆積土砂の撤去を行うことで、流下能力の向上を図ることとしております。</li></ul>   |
| ④   | 遊水地計画について           | <ul style="list-style-type: none"><li>遊水地は洪水を一時貯め込み下流の水位上昇を抑えるものであり、今回の治水対策において検討を行ったものの、小白川・萩生川は山間部を流れる急流河川であり十分な水位抑制効果を有する遊水地整備は困難であることから採用していません。</li></ul>  |

## 3-6. パブリック・コメントでの主な意見

### 4 改良復旧区間の河道設計について

| No. | 意見                | 県の回答案   |
|-----|-------------------|---|
| ①   | 河道線形是正の考え方        | <ul style="list-style-type: none"><li>河道の是正を行う場合は、水流の向きが人家に向かわないように留意して計画してまいります。</li></ul>   |
| ②   | 圃場復旧との調整          | <ul style="list-style-type: none"><li>被災した圃場の災害復旧については、河川の改良復旧計画と合わせて決定することから、圃場の災害復旧と連携して進めることとしております。</li></ul>   |
| ③   | 旧川敷・河岸侵食箇所<br>の活用 | <ul style="list-style-type: none"><li>河道線形の是正に伴い旧川敷となる箇所や、河岸侵食を受けた箇所の活用については、「美しい山河を守る災害復旧基本方針」や多自然川づくりアドバイザーの助言等を踏まえ、さらに地域住民のご意見をお聞きしながら、今後の河川設計で検討していく予定です。</li></ul>   |
| ④   | 河川の断面計画           | <ul style="list-style-type: none"><li>河川の断面計画につきましては、「河川管理施設等構造令」、「河川砂防技術基準」及び「美しい山河を守る災害復旧基本方針」等、国土交通省が定めた技術基準や多自然川づくりに関するマニュアル、また、多自然川づくりアドバイザーの助言等を参考に、現況の河道状況を踏まえながら計画してまいります。</li></ul>  |
| ⑤   | 河岸法面              | <ul style="list-style-type: none"><li>河岸法面につきましては、「河川砂防技術基準」や「美しい山河を守る災害復旧基本方針」、多自然川づくりアドバイザーの助言等に基づき、河床幅をより広く確保し良好なみお筋・水際を確保する観点から決定しております。</li></ul>  |
| ⑥   | 護岸に使用する材料         | <ul style="list-style-type: none"><li>護岸に使用する材料につきましては、各種技術基準、河岸の法勾配、想定される流速に対する強度、コスト等より、今後の設計において総合的に決定してまいります。</li></ul>   |
| ⑦   | 魚類への配慮            | <ul style="list-style-type: none"><li>改良復旧区間には、河床の安定化のため、落差工を設置し勾配をできるだけ緩やかにする計画としております。</li><li>落差工の本体縦断形状は、地元の漁協の助言も踏まえ、「緩傾斜式落差工」という、落差をある程度の延長をもって処理する形式とし、本体表面に適切な処理を施すことで、魚類等の遡上効果に望ましい構造とする予定としております。なお、落差工の詳細設計をする際にも漁協と相談しながら実施してまいります。</li></ul> |

## 3-6. パブリック・コメントでの主な意見

### 5 流域治水の推進について

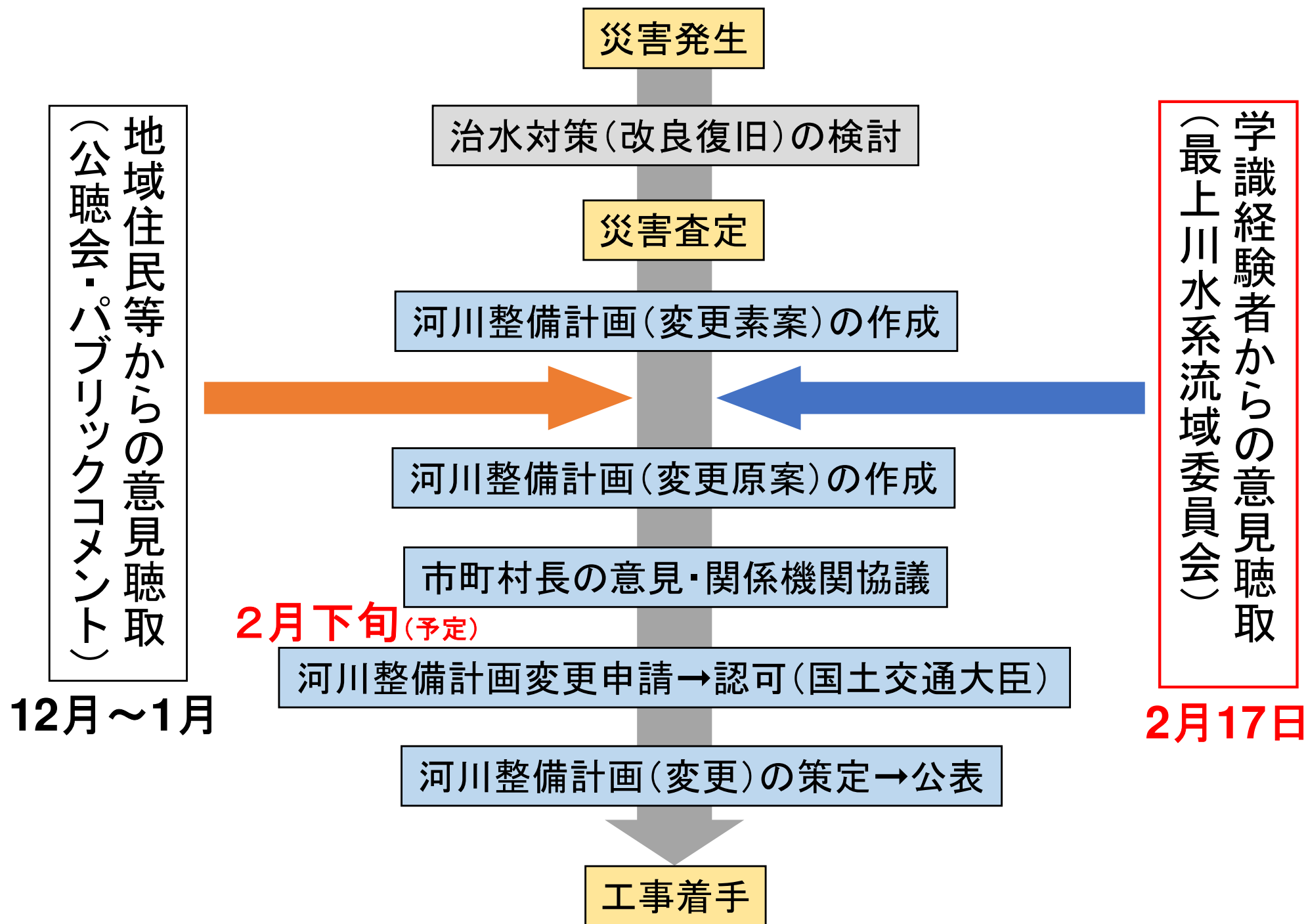
| No. | 意見                   | 県の回答案  |
|-----|----------------------|--|
| ①   | 治山・治水の視点も考慮した流域治水の推進 | <ul style="list-style-type: none"><li>近年の気候変動の影響から甚大な水害が頻発しており、森林の持つ災害防止機能を高めるなど、流域全体で総合的な防災力の向上が図られるよう、国・県・市町村・住民・企業など流域のあらゆる関係者が連携・協働して行う「流域治水」の推進が重要です。</li><li>今後、最上川水系における「流域治水協議会」および「大規模氾濫時の減災対策協議会」の枠組みを活用し、飯豊町をはじめとする流域の関係者と連携し、流域治水を推進してまいります。</li></ul> |
| ②   | 河川の流出量抑制の取組          | <ul style="list-style-type: none"><li>河川の流出量を抑制する取り組みとしては、「田んぼダム」や「調整池」、「貯水槽」等が考えられ、流域治水の観点から、飯豊町等の取組への技術的な支援を推進していく必要があると考えております。</li></ul>   |
| ③   | 水位計等の設置              | <ul style="list-style-type: none"><li>令和4年8月の大雨を踏まえて、小白川の竹原橋及び萩生川の二反田橋に危機管理型水位計を設置し、令和4年9月30日から運用を開始しております。</li><li>河川の状況把握をリアルタイムの映像で把握できるよう、小白川の大巻橋下流及び萩生川の二反田橋下流に簡易型河川監視カメラを設置し、令和5年1月27日から運用を開始しております。</li></ul>   |

# 3-6. パブリック・コメントでの主な意見

## 6 土砂・流木対策及び治山対策について

| No. | 意見                             | 県の回答案   |
|-----|--------------------------------|---|
| ①   | 河川整備計画への「斜面林崩落による土砂、流木対策」の位置づけ | <ul style="list-style-type: none"><li>河川整備計画の「2-3-2 関連施策との連携による効率的な整備・管理の推進」において、「特に、上流からの土砂供給量が多い河川においては、砂防事業者や治山関係者等、関係機関との情報交換や調整に努め、十分に連携していく。」と記載しております。</li><li>河川整備計画では、河川以外の事業について個別具体的に明示しておりませんが、流域治水推進の観点から、小白川・萩生川の土砂・流木対策について検討していく必要があると考えており、関係者が連携することで取組が推進されるよう努めてまいります。</li></ul>  |
| ②   | 堆積土砂・流木の除去                     | <ul style="list-style-type: none"><li>砂防堰堤での土砂・流木・立木の除去については、状況の定期的な確認とともに、除去について検討を行っていく必要があると考えており、流域治水の取組において、関係者が連携して推進されるよう努めてまいります。</li><li>今回の豪雨で河道内に堆積した土砂については、二次災害防止のための応急復旧工事として8/6～9/7に撤去を行いました。さらに、今後予定する改良復旧工事、上流の災害復旧工事（原型復旧）等において、必要により撤去を行ってまいります。</li><li>河川における定期的な土砂の除去については、河川整備計画「2-2 河川維持の目的、種類及び施工の場所」に位置付けているほか、流下能力確保対策として「河川流下能力・持続化対策事業」により、堆積土砂・支障木の対策について計画的に実施してまいります。</li></ul> |
| ③   | 遊砂池の整備                         | <ul style="list-style-type: none"><li>遊砂池の整備等の中長期的な土砂・流木の流出抑制について、検討していく必要があると考えており、流域治水の取組において、関係者が連携して推進されるよう努めてまいります。</li></ul>  |
| ④   | 関係者協議による的確な森林管理の体制構築           | <ul style="list-style-type: none"><li>河川上流域など森林の防災・保全機能を発揮させる間伐等の森林整備を進め、適正な森林管理が推進されるよう、流域治水の枠組みにおいて関係者が連携し、努めてまいります。</li></ul>  |

### 3-7. 今後の予定 整備計画変更スケジュール



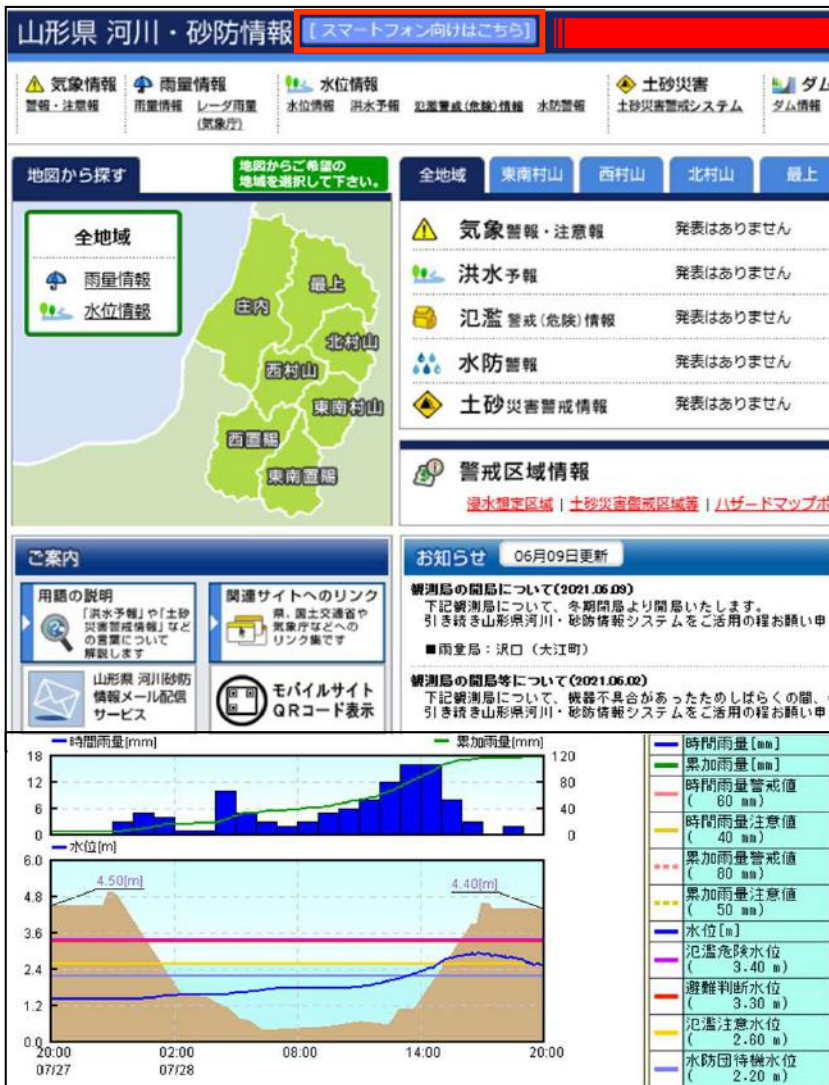
# 4. 流域治水の取組み



# (1) 山形県 河川・砂防情報システム

- 県内各地の雨量情報や水位情報等を自動的に収集・管理し、県民及び県内の自治体関係機関にリアルタイムに情報を提供するもの
- インターネットや携帯電話で情報を把握することができ、自主的な避難情報として、県民の皆様にも広く活用して頂き、災害意識の高揚にも役立つもの

## <パソコン画面>



## <スマートフォン用画面>



スマートフォン対応の開始  
【令和3年4月】

## <携帯用画面>



スマートフォン用



携帯電話用



## (2) 危機管理型水位計

### ■目的

洪水時の水位観測に特化した低コスト型水位計を広く設置し、これまで水位計が無かった河川や細やかな水位把握が必要な河川等における水位観測網の充実を図り、住民の避難行動や自治体の避難指示等の判断基準等に資する。

### ■主な経緯

- ・H30.11月の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づき、簡易型河川監視カメラの設置が全国的に推進
- ・本県ではH30年度に85基を設置、H31.4月より運用開始 (R5.2現在88基)

### ■設置箇所選定の考え方

- ・既存水位計の受け持ち区間が長く、補完が必要な河川
- ・役場等の重要施設が近接
- ・DID地区(市街地)等を貫流
- ・直轄の背水対策に課題のある河川 など

### ▼水位計の設置台数(R5.2月現在)

| 総合支庁 |     | 設置台数     |        |
|------|-----|----------|--------|
|      |     | 危機管理型水位計 | 従来型水位計 |
| 村山   | 本庁舎 | 18基      | 20基    |
|      | 西庁舎 | 7基       | 3基     |
|      | 北庁舎 | 4基       | 15基    |
| 最上   |     | 18基      | 12基    |
| 置賜   | 本庁舎 | 9基       | 15基    |
|      | 西庁舎 | 9基       | 4基     |
| 庄内   |     | 23基      | 31基    |
| 合計   |     | 88基      | 100基   |



# (3) 簡易型河川監視カメラ

- 出水時にリアリティーのある洪水状況を画像として住民と共有し、適切な避難判断を促すため、新たに簡易型河川監視カメラ※91基を令和元年度に設置 (R5.2現在96基)
- 最新の画像を河川情報センターが運営する「川の防災情報」のホームページで公開開始 (令和2年4月1日運用開始)
- 簡易型河川監視カメラの増設に関して今後検討予定

※ 機能を限定することにより 低コスト化を図ったもので、一定間隔で静止画像を撮影し、LTE回線などの無線通信で伝送するもの



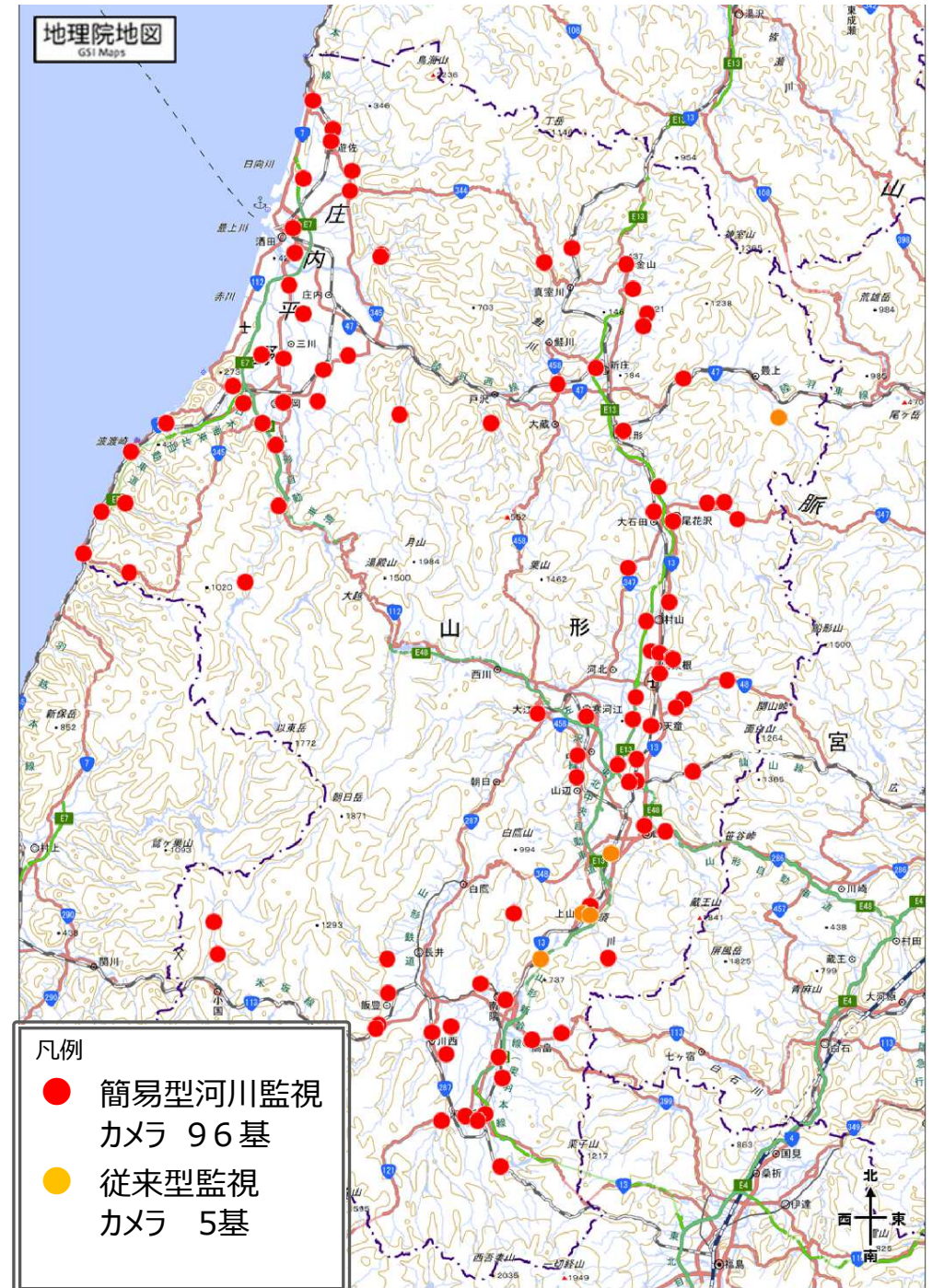
▲ 試験画像 (左: 昼間 右: 夜間)

R5.2月 現在



設置した簡易型河川監視カメラ

| 総合支庁 |     | 設置台数       |          |
|------|-----|------------|----------|
|      |     | 簡易型河川監視カメラ | 従来型監視カメラ |
| 村山   | 本庁舎 | 16基        | 4基       |
|      | 西庁舎 | 2基         | —        |
|      | 北庁舎 | 15基        |          |
| 最上   |     | 11基        | 1基       |
| 置賜   | 本庁舎 | 15基        | —        |
|      | 西庁舎 | 6基         |          |
| 庄内   |     | 31基        |          |
| 合計   |     | 96基        | 5基       |





# (5) 可搬式排水ポンプの配備と令和4年8月の大雨における稼働状況

令和3年3月に県内に可搬式排水ポンプ9台を配備



## 令和4年8月の大雨における 山形県の可搬式排水ポンプ作業実施状況

### ○ 県管理河川

・犬川、黒川(川西町東大塚) ……1台

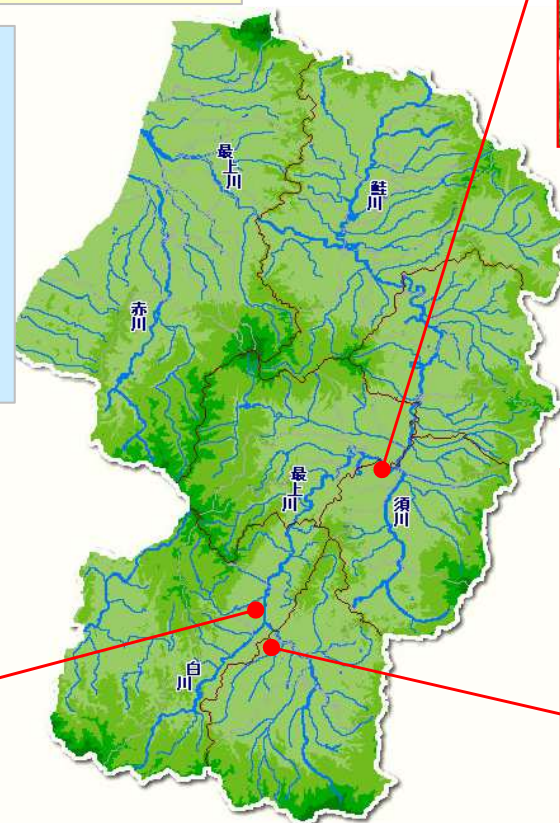
### ○ 市・町からの要請

・野呂川(長井市館町北) ……1台

・不動沢川(中山町小塩) ……1台



不動沢川(中山町小塩)  
8月4日11:00~13:30



野呂川(長井市館町北)  
8月3日22:00~4日11:00



山形県 排水ポンプ No. 6  
犬川、黒川(川西町東大塚)  
8月3日21:00~4日13:10

# (6) 流域治水プロジェクト

- 最上川水系においては、令和3年3月30日に「最上川水系流域治水プロジェクト」を策定・公表し、国、県、市町村等が連携し、河道掘削、堤防整備等を着実に実施していくほか、農業施設や雪対策と連携した流出抑制、内水被害軽減などの対策を組み合わせた流域治水を推進する。

## 「流域治水」の施策について

- 流域治水とは、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダムの建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考えです。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

**① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**

**雨水貯留機能の拡大** [県・市、企業、住民] **集水域**  
 雨水貯留浸透施設の整備、ため池等の治水利用

**流水の貯留** [国・県・市・利水者] **河川区域**  
 治水ダムの建設・再生、利水ダム等において貯留水を事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]  
 土地利用と一体となった遊水機能の向上

**持続可能な河道の流下能力の維持・向上** [国・県・市]  
 河床掘削、引堤、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備

**氾濫水を減らす** [国・県]  
 「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等

**② 被害対象を減少させるための対策**

**リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫** [県・市、企業、住民] **氾濫域**  
 土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討

**浸水範囲を減らす** [国・県・市] **氾濫域**  
 二線堤の整備、自然堤防の保全



**③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**

**土地のリスク情報の充実** [国・県] **氾濫域**  
 水害リスク情報の空白地帯解消、多段型水害リスク情報を発信

**避難体制を強化する** [国・県・市]  
 長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握

**経済被害の最小化** [企業、住民]  
 工場や建築物の浸水対策、BCPの策定

**住まい方の工夫** [企業、住民]  
 不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進

**被災自治体の支援体制充実** [国・企業]  
 官民連携によるTEC-FORCEの体制強化

**氾濫水を早く排除する** [国・県・市等]  
 排水門等の整備、排水強化

県：都道府県 市：市町村 [ ]：想定される対策実施主体

# (6) 最上川水系流域治水プロジェクト

○令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生した最上川水系では、河川整備に併せ、地域の主産業（農業等）や豪雪地域などの地域特性を踏まえた農地・農業水利施設の活用や雪対策と連携した高床化などによる対策を組み合わせた流域治水を推進することで、令和2年7月豪雨中上流部で戦後最大>及び昭和44年洪水（低気圧）<下流部で戦後最大>と同規模の洪水に対して、国管理区間での氾濫を防止するとともに流域での浸水被害の軽減を図ります。



- ### ■被害対象を減少させるための対策
- 氾濫域での対策
    - ・災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導
    - ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）
    - ・家屋移転、かさ上げ補助制度の創設
    - ・雪対策と連携した氾濫被害の軽減（高床住宅等）

- ### ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河川区域での対策
    - ・河道掘削、堤防整備、分水路整備、遊水地改良等
  - 集水域での対策
    - ・砂防堰堤等の整備
    - ・雨水幹線の整備、貯留管
    - ・利水ダム等25ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、山形県、東北電力(株)、土地改良区など）
    - ・森林整備・治山対策・水田貯留（田んぼダム）・ため池の保全
    - ・農業用排水機場等の整備
    - ・下水道施設（処理場等）の耐水化



山形県



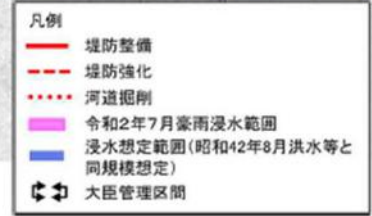
災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導  
[山形市、鶴岡市、鶴岡市、西田市、上山市、村山市、長井市、天童市、東花沢市、南陽市、山形市、大江町、大石町、湯沢町、白鷹町]

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- ### ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 氾濫域での対策
    - ・水害リスク空白域の解消
    - ・危機管理型水位計の設置
    - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
    - ・R2.7出水の課題を受けたタイムラインの改善
    - ・流域自治体との洪水対応演習
    - ・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
    - ・メディアと連携による洪水情報の提供
    - ・まるごとまちごとハザードマップの促進
    - ・広域連携による避難体制の強化
    - ・民間企業と連携した避難体制の強化
    - ・市町村庁舎等防災拠点の機能確保
    - ・水防拠点の拡張・増設
    - ・河道掘削土を活用した水防災拠点（兼避難場所）の整備



### ●グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ



# (7) 最上川上流(置賜地域)緊急治水対策プロジェクト

## 最上川上流(置賜地域)緊急治水対策プロジェクト

令和4年度～令和7年度

～地域特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

○最上川流域では、国、山形県、市町村等が連携して「最上川水系流域治水プロジェクト」を進めているところであるが、令和4年8月3日からの大雨により置賜地域の川西町、南陽市、白鷹町の沿川約8kmにわたって計画高水位を超過し、堤防の決壊リスクが高まり、内水等による浸水被害が発生したことから、以下の対策を実施する。

- ・国、県は最上川本川、支川の災害復旧、河道掘削を集中的に実施し、同規模の洪水に対して氾濫を防止する。
- ・川西町は準用河川の堤防整備、河道掘削、高島町は内水調整池整備、居住誘導等を実施し、浸水被害の軽減を図る。

■事業期間 令和4年度～令和7年度

■事業費 約102億円

【国:約21億円、県:約81億円】

■目標 令和4年8月出水と同規模の洪水を安全に流下させ、内水等の浸水被害の軽減を図る。

### ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

#### ○河川区域での対策

- ・災害復旧※、白鷹地区・川西南陽地区で河道掘削を実施【国】 ※最上川上流の全域を対象
- ・災害復旧、河道掘削等【県】

#### ○集水域での対策

- ・内水調整池の整備【高島町】
- ・準用河川の堤防整備及び河道掘削【川西町】
- ・田んぼダムの推進【長井市他】

### ■被害対象を減少させるための対策

#### ○氾濫域での対策

- ・立地適正化計画の作成及び立地適正化計画に基づく安全な場所への居住誘導等【高島町】

### ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

#### ○氾濫域での対策

- ・避難確保計画作成支援【米沢市他】
- ・まるごとまちごとハザードマップの促進、マイ・タイムラインの普及促進【長井市他】
- ・防災ラジオの普及、災害情報ツールの多重化【南陽市他】

### 【対策箇所】

位置図



### 【ロードマップ】

|                     | 緊急治水対策(R7まで)                   |               |    |    |
|---------------------|--------------------------------|---------------|----|----|
|                     | R4                             | R5            | R6 | R7 |
| 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 | 河道掘削(国)                        | 約14万m³完了      |    |    |
|                     | 河道掘削等(県)                       | 浸水箇所、支川の掘削等完了 |    |    |
|                     | 災害復旧(国) ※最上川上流の全域を対象           | 災害復旧完了        |    |    |
|                     | 災害復旧(河道整備)(県)                  |               |    |    |
|                     | 災害復旧(県)                        |               |    |    |
| 被害対象を減少させるための対策     | 内水調整池、準用河川の堤防整備等(町)            |               |    |    |
|                     | 立地適正化計画の作成による安全な場所への居住誘導等(高島町) | 計画作成(1/4)     |    |    |
| 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 | 避難体制等の強化                       |               |    |    |
|                     | 水害リスク情報の充実と普及                  |               |    |    |

※具体的な対策内容やスケジュールについては、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。